

飯島都市計画基礎調査報告書

(概 要 版)

令和3年3月

上伊那郡飯島町

目 次

① 人 口	
C0101 人口規模	1
C0103 将来人口	4
C0104 人口増減の内訳	7
C0105 通勤・通学移動	9
② 産 業	
C0201 産業・職業大分類別就業者数	11
C0202 事業所数・従業者数・売上金額	17
③ 土地利用	
C0302 土地利用現況	23
C0304 宅地開発状況	25
C0305 農地転用状況	27
C0307 新築状況	28
C0308 条例・協定	32
④ 建 物	
C0401 建物用途別現況	34
⑤ 都市施設	
C0501 都市施設の位置、内容等	41
⑥ 交 通	
C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	42
C0603 鉄道・路面電車等の状況	43
C0604 バスの状況	44
⑦ 地 価	
C0701 地価の状況	45
⑧ 自然環境	
C0802 気象状況	46
C0803 緑の状況	48
⑨ 公害及び災害	
C0901 災害の発生状況	49
C0902 防災拠点・避難場所	50

-
- 数字の単位未満は、四捨五入を原則としている。したがって、総数と内容の計が一致しない場合がある。

① 人口

C0101 人口規模

1) 人口総数及び増加数

飯島町の行政区域の人口推移をみると、平成7年の10,989人をピークに、それ以降は減少が続き、平成27年には9,530人となっている。平成7年から平成27年までの20年間の増減は1,459人減、約13%の減少となっている。

また、用途地域指定区域人口及び用途地域指定外区域人口も同様の傾向を示し、平成7年をピークに、平成27年には用途地域指定区域で2,790人、用途地域指定外区域で6,740人に減少している。

また、平成7年から平成22年の間の人口減少幅は増加傾向にあったが、その後平成27年にかけて減少率は低下している。平成22年～平成27年の5年間の減少率は用途地域指定区域で11.1%と減少が著しい一方、用途地域指定外区域は0.4%の微減となっている。

表1-1 人口推移

区 域	平成7年	H7～H12年 の増減		平成12年	H12～H17年 の増減		平成17年	H17～H22年 の増減		平成22年	H22～H27年 の増減		平成27年
	人 口	人 口	率	人 口	人 口	率	人 口	人 口	率	人 口	人 口	率	人 口
行政区域	10,989	△ 94	△ 0.9	10,895	△ 325	△ 3.0	10,570	△ 668	△ 6.3	9,902	△ 372	△ 3.8	9,530
都市計画 区	10,989	△ 94	△ 0.9	10,895	△ 325	△ 3.0	10,570	△ 668	△ 6.3	9,902	△ 372	△ 3.8	9,530
用途地域 指定区域	3,511	△ 82	△ 2.3	3,429	△ 72	△ 2.1	3,357	△ 220	△ 6.6	3,137	△ 347	△ 11.1	2,790
用途地域 指定外区域	7,478	△ 12	△ 0.2	7,466	△ 253	△ 3.4	7,213	△ 448	△ 6.2	6,765	△ 25	△ 0.4	6,740

資料：国勢調査

注1) 平成17年・平成22年の用途地域指定区域人口は、最小国勢調査区域の世帯を用途地域内外に区分し、用途地域内の世帯数に1世帯当たり人員を乗じて算出した。

注2) 平成27年の用途地域指定区域人口は、分断された最小国勢調査区域の住宅数で按分比を決定し、人口を配分して算出した。

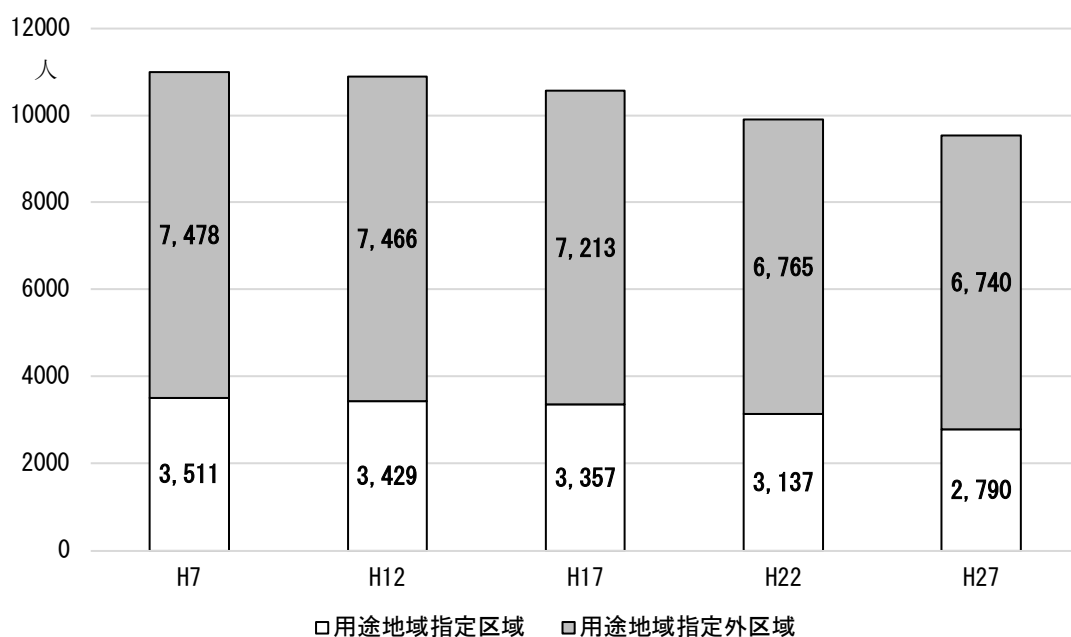


図1-1 人口推移

2) 年齢・性別人口

平成27年の5歳階級別人口をみると、男女とも65～69歳を頂点に形成されている。男女での比較をすると30歳から64歳までは男性が女性を上回る年齢層が多いが、65歳以上は、すべての年齢層で女性が上回っている。平成7年と平成27年を比較すると、ともに壺型であるが、人口配分が高齢側に移り、若年層の人口減少が進んでいることがわかる。

年齢3区分別人口でみると、年少人口と生産年齢人口の割合は平成7年から平成27年まで一貫して減少し続け、老年人口の割合は増加し続けている。平成7年から平成27年までの20年間で年少人口が1,720人から1,112人(35.3%減)、老年人口が2,407人から3,202人(33.0%増)となっており、構成比でみると年少人口が15.7%から11.7%、老年人口が21.9%から33.6%と変化していることから、少子高齢化の進行がうかがえる。

表1-2 5歳階級別年齢・性別人口推移(行政区域)

単位：人

年 階層	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	485	248	237	481	254	227	378	187	191	328	170	158	332	163	169
5～9	599	304	295	516	255	261	477	245	232	380	194	186	382	201	181
10～14	636	329	307	620	313	307	536	271	265	464	242	222	398	200	198
年少人口	1,720	881	839	1,617	822	795	1,391	703	688	1,172	606	566	1,112	564	548
15～19	678	345	333	552	273	279	527	261	266	457	226	231	393	210	183
20～24	653	333	320	576	301	275	510	240	270	386	182	204	305	147	158
25～29	563	263	300	635	309	326	603	310	293	459	239	220	403	190	213
30～34	609	311	298	588	296	292	631	321	310	528	269	259	426	226	200
35～39	670	331	339	568	297	271	576	287	289	557	282	275	524	270	254
40～44	732	375	357	680	336	344	583	303	280	551	277	274	605	306	299
45～49	823	437	386	743	382	361	670	331	339	582	305	277	557	287	270
50～54	729	359	370	824	427	397	737	376	361	664	325	339	582	307	275
55～59	654	317	337	742	356	386	800	414	386	729	376	353	684	338	346
60～64	751	355	396	673	327	346	726	343	383	799	409	390	737	381	356
生産年齢人口	6,862	3,426	3,436	6,581	3,304	3,277	6,363	3,186	3,177	5,712	2,890	2,822	5,216	2,662	2,554
65～69	784	371	413	721	334	387	644	320	324	730	350	380	777	388	389
70～74	605	279	326	738	337	401	680	299	381	619	303	316	693	317	376
75～79	458	180	278	553	238	315	670	292	378	611	260	351	568	261	307
80～84	313	111	202	367	131	236	457	188	269	540	218	322	541	208	333
85～89	190	62	128	224	70	154	235	67	168	343	118	225	397	141	256
90～	57	19	38	94	30	64	130	27	103	175	38	137	226	64	162
老年人口	2,407	1,022	1,385	2,697	1,140	1,557	2,816	1,193	1,623	3,018	1,287	1,731	3,202	1,379	1,823
総計	10,989	5,329	5,660	10,895	5,266	5,629	10,570	5,082	5,488	9,902	4,783	5,119	9,530	4,605	4,925

資料：国勢調査

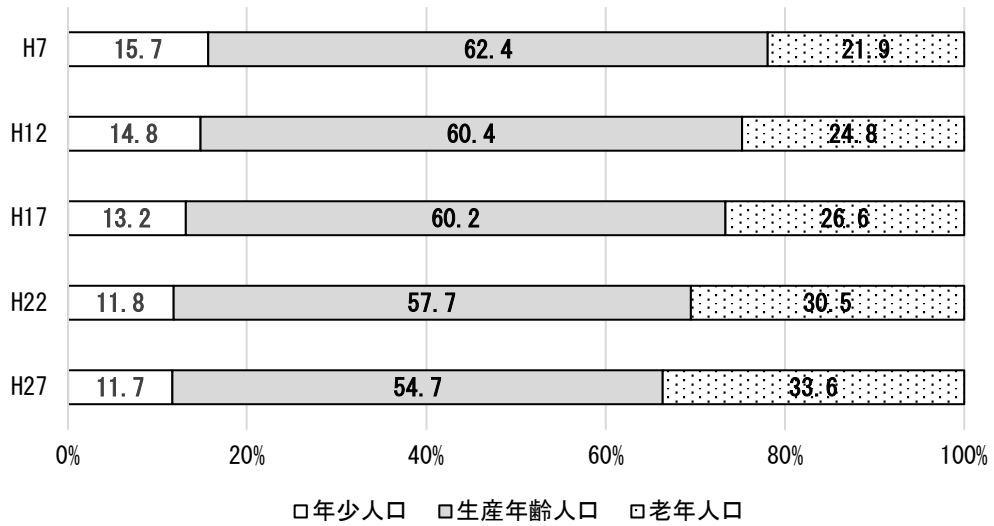
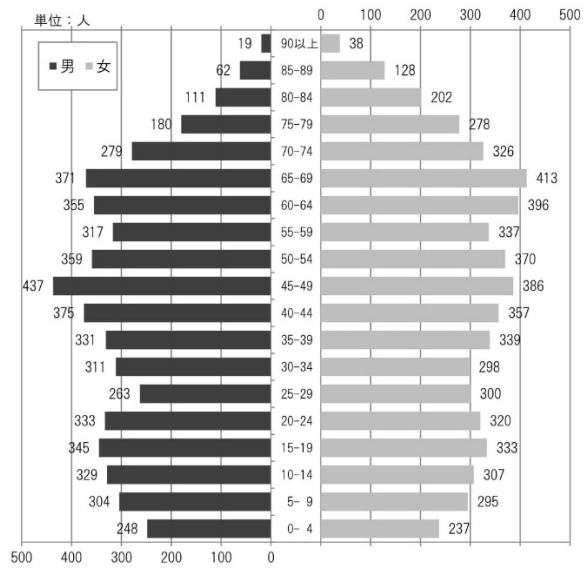


図1-2 年齢3区分別人口構成比推移 (行政区)

平成7年



平成27年

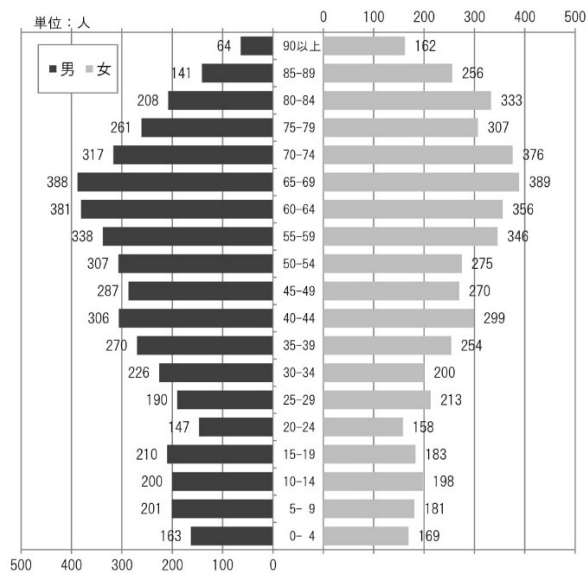


図1-3 5歳階級別年齢・性別人口 (行政区)

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による飯島町の推計人口は減少が続き、令和27年には6,040人になると推計されている。年齢3区分別人口でみると、平成27年から令和27年の増減は年少人口が553人減(49.7%減)、生産年齢人口が2,651人減(50.9%減)、老年人口が286人減(8.9%減)となっている。

表1-3 5歳階級別人口推計

単位：人

	平成27年（実績値）			令和2年			令和7年			令和12年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	332	163	169	295	151	144	252	129	123	225	115	110
5～9	382	201	181	342	167	175	307	156	151	262	133	129
10～14	398	200	198	387	205	182	347	172	175	312	160	152
年少人口	1,112	564	548	1,024	523	501	906	457	449	799	408	391
15～19	393	210	183	336	173	163	327	178	149	293	149	144
20～24	305	147	158	263	137	126	226	113	113	219	116	103
25～29	403	190	213	324	156	168	281	146	135	242	121	121
30～34	426	226	200	371	181	190	303	149	154	265	140	125
35～39	524	270	254	408	212	196	356	169	187	292	140	152
40～44	605	306	299	530	274	256	416	217	199	364	174	190
45～49	557	287	270	612	317	295	536	283	253	422	225	197
50～54	582	307	275	557	289	268	612	319	293	536	285	251
55～59	682	338	346	587	319	268	563	301	262	618	332	286
60～64	735	381	356	688	341	347	596	325	271	573	308	265
生産年齢人口	5,212	2,662	2,554	4,676	2,399	2,277	4,216	2,200	2,016	3,824	1,990	1,834
65～69	777	388	389	726	373	353	678	334	344	592	321	271
70～74	693	317	376	740	355	385	693	342	351	648	307	341
75～79	568	261	307	638	280	358	686	317	369	641	305	336
80～84	539	208	333	493	214	279	559	232	327	607	267	340
85～89	397	141	256	404	140	264	372	147	225	430	162	268
90歳以上	232	64	162	270	80	190	295	86	209	292	92	200
老年人口	3,206	1,379	1,823	3,271	1,442	1,829	3,283	1,458	1,825	3,210	1,454	1,756
総計	9,530	4,605	4,925	8,971	4,364	4,607	8,405	4,115	4,290	7,833	3,852	3,981

	令和17年			令和22年			令和27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	203	104	99	177	91	86	156	80	76
5～9	235	119	116	213	108	105	186	94	92
10～14	267	137	130	240	123	117	217	111	106
年少人口	705	360	345	630	322	308	559	285	274
15～19	264	139	125	225	118	107	202	106	96
20～24	196	97	99	176	90	86	150	77	73
25～29	235	124	111	211	104	107	190	97	93
30～34	228	116	112	221	119	102	199	100	99
35～39	255	132	123	220	109	111	215	113	102
40～44	299	144	155	262	136	126	227	113	114
45～49	368	181	187	303	149	154	266	141	125
50～54	423	227	196	368	182	186	304	151	153
55～59	544	298	246	428	237	191	372	190	182
60～64	630	340	290	553	304	249	436	242	194
生産年齢人口	3,442	1,798	1,644	2,967	1,548	1,419	2,561	1,330	1,231
65～69	571	306	265	627	337	290	551	302	249
70～74	566	296	270	547	282	265	600	311	289
75～79	603	276	327	526	266	260	511	255	256
80～84	568	257	311	538	234	304	471	228	243
85～89	472	190	282	441	183	258	426	170	256
90歳以上	322	101	221	367	121	246	361	121	240
老年人口	3,102	1,426	1,676	3,046	1,423	1,623	2,920	1,387	1,533
総計	7,249	3,584	3,665	6,643	3,293	3,350	6,040	3,002	3,038

資料：男女・年齢（5歳）階級別データ『日本の地域別将来推計人口』（平成30年3月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

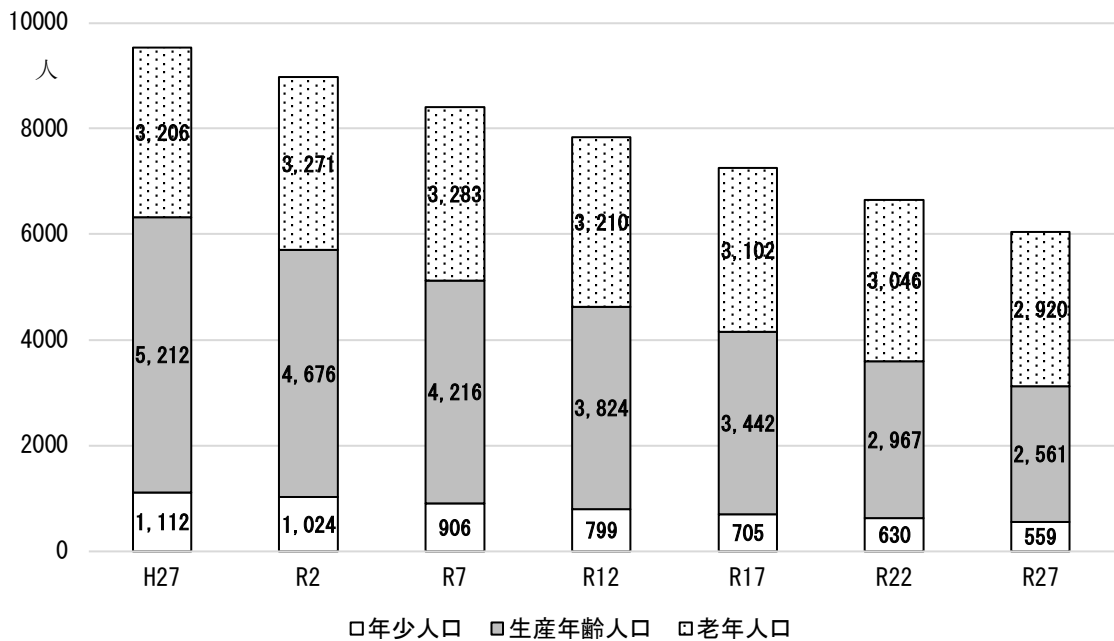


図1-4 年齢3区分別将来推計人口

国勢調査を基本とした人口推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの、将来の行政区域人口は緩やかな減少傾向にあることが推測される。また、現在策定中の飯島町第6次総合計画における令和12年の将来フレームは8,404人に設定されている。

表1-4 人口推計

		昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年 (基準年次)	令和2年	令和7年 (10年後)	令和12年	令和17年 (20年後)	令和22年	令和27年 (30年後)
行政区域	実績値	10,515	10,705	10,801	10,989	10,895	10,570	9,902	9,530						
	上位計画														
	飯島町第6次総合計画									9,154	8,771	8,404	8,042	7,685	7,357
	飯島都市計画区域マスタープラン 注1								概ね14,500	概ね13,700					
	飯島町都市計画マスタープラン							12,000							
都市計画区域	推計値														
	コーホート要因法 注2 (国立社会保障・人口問題研究所)									8,971	8,405	7,833	7,249	6,643	6,040
	等差式									9,165	8,801	8,436	8,071	7,706	7,342
	等比式									9,085	8,746	8,420	8,105	7,803	7,512
	一次式									9,204	8,813	8,422	8,031	7,640	7,248
	二次式									8,754	7,914	6,945	5,847	4,621	3,267
	指数式									9,244	8,899	8,567	8,247	7,939	7,643
用途地域指定区域	実績値	3,386	3,484	3,451	3,511	3,429	3,357	3,137	2,790						
	推計値														
	等差式									2,610	2,430	2,249	2,069	1,889	1,709
	等比式									2,669	2,526	2,392	2,264	2,143	2,029
	一次式									2,725	2,551	2,378	2,204	2,031	1,858
	二次式									2,386	1,873	1,264	558	-	-
	指数式									2,743	2,597	2,458	2,327	2,203	2,085

資料：国勢調査、日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）

注1）飯島都市計画区域全域での想定値であり、コーホート要因法を基に算定された値

注2）日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）

【人口推計参考資料】

平成 7 年から平成 27 年までの国勢調査人口を用いた、人口推計における回帰式及び一般式は以下のとおりである。

Y：基準年次から X または n 年後における推計人口

X：基準年次（平成 7 年）からの経過年数

n：基準年次（平成 27 年）からの経過年数

	行政区域（都市計画区域）	用途地域指定区域
等差式	$Y = 10989 - 72.95 * n$	$Y = 3511 - 36.05 * n$
等比式	$Y = 10989 (1 - 0.00758)^n$	$Y = 3511 (1 - 0.01091)^n$
一次式	$Y = -78.22X + 11237.62$	$Y = -34.68X + 3626.28$
二次式	$Y = -2.56857X^2 - 21.71143X + 11055.25$	$Y = -1.93714X^2 + 7.93714X + 3488.74$
指数式	$Y = 11266 \times 0.99242^X$	$Y = 3649 \times 0.98909^X$

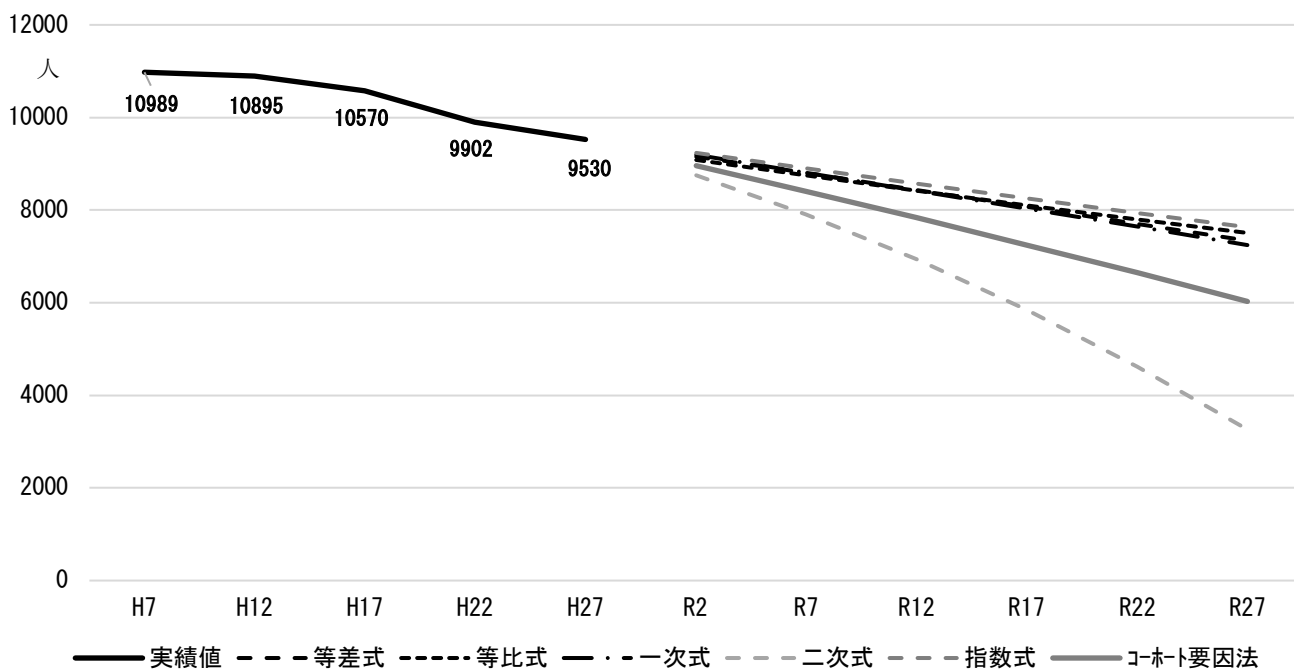


図 1 - 5 人口の推移と将来推計（行政区域）

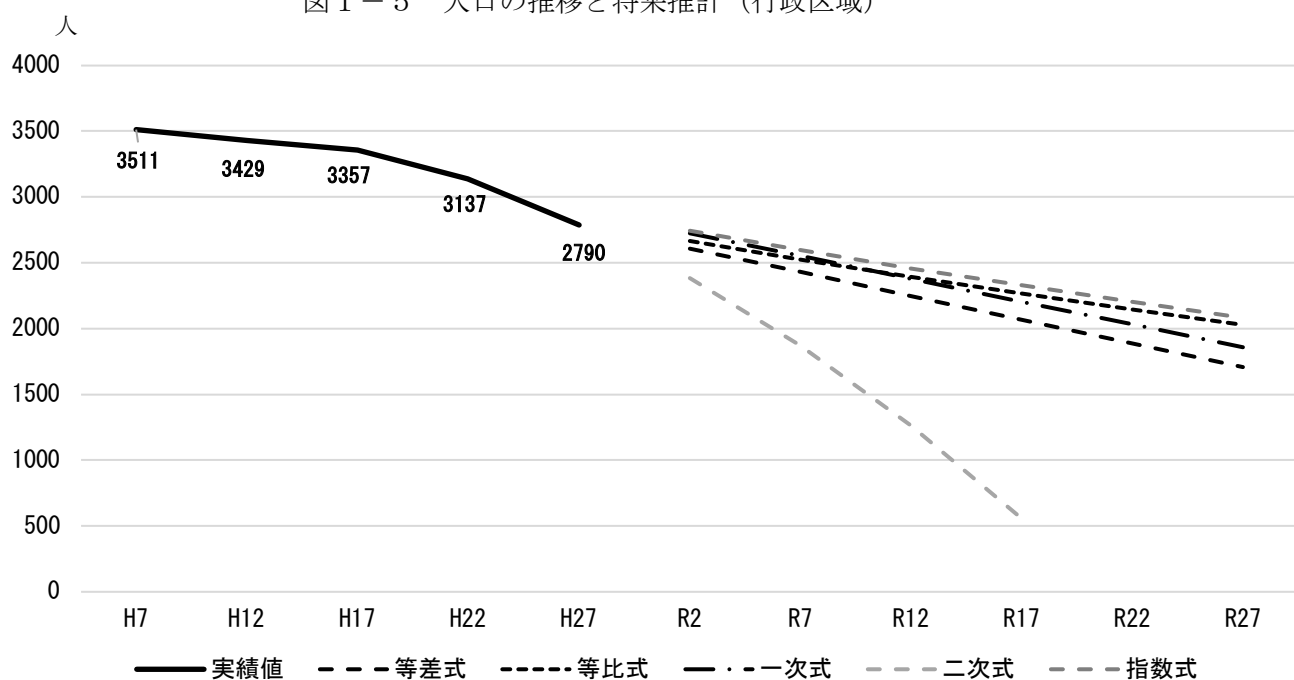


図 1 - 6 人口の推移と将来推計（用途地域指定区域）

C0104 人口増減の内訳

行政区域の平成7年から令和元年までの25年間における人口減少数は1,673人となっている。

自然動態においては、平成10年以降一貫して出生数が死亡者数を下回るにより減少が続いている。

一方、社会動態においては年により100人程度未満の増減が続いていたが、平成28年以降は社会減が続いている。

全体の人口動態の推移を累計値でみると、平成12年までは増加傾向にあったが、それ以降は減少が続いている。

表1-5 人口動態推移

		H7年	H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年
行政区域	出生数	27	32	64	54	54	88	71	72	75	48	66	57
	死亡者数	38	43	63	61	68	104	123	127	134	118	116	118
	自然増	△11	△11	1	△7	△14	△16	△52	△55	△59	△70	△50	△61
	転入者数	130	150	256	229	294	291	282	323	299	290	278	239
	転出者数	119	161	192	204	196	346	350	305	307	322	327	278
	社会増	11	△11	64	25	98	△55	△68	18	△8	△32	△49	△39
	人口増加数	0	△22	65	18	84	△71	△120	△37	△67	△102	△99	△100
	累計		△22	43	61	145	74	△46	△83	△150	△252	△351	△451
都市計画区域	出生数	27	32	64	54	54	88	71	72	75	48	66	57
	死亡者数	38	43	63	61	68	104	123	127	134	118	116	118
	自然増	△11	△11	1	△7	△14	△16	△52	△55	△59	△70	△50	△61
	転入者数	130	150	256	229	294	291	282	323	299	290	278	239
	転出者数	119	161	192	204	196	346	350	305	307	322	327	278
	社会増	11	△11	64	25	98	△55	△68	18	△8	△32	△49	△39
	人口増加数	0	△22	65	18	84	△71	△120	△37	△67	△102	△99	△100
	累計		△22	43	61	145	74	△46	△83	△150	△252	△351	△451
用途地域指定区域	出生数	69	23	27	33	30	28	27	23	27	31	21	18
	死亡者数	66	30	28	38	34	27	32	28	29	31	37	37
	自然増	3	△7	△1	△5	△4	1	△5	△5	△2	0	△16	△19
	転入者数	196	59	139	124	87	180	135	132	163	164	88	76
	転出者数	225	85	118	109	132	215	158	173	127	161	104	88
	社会増	△29	△26	21	15	△45	△35	△23	△41	36	3	△16	△12
	人口増加数	△26	△33	20	10	△49	△34	△28	△46	34	3	△32	△31
	累計		△33	△13	△3	△52	△86	△114	△160	△126	△123	△155	△186

		H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	令和元年
行政区域	出生数	60	66	54	41	65	73	55	65	62	52	55	49	59
	死亡者数	112	124	118	121	134	142	134	138	127	131	149	130	131
	自然増	△52	△58	△64	△80	△69	△69	△79	△73	△65	△79	△94	△81	△72
	転入者数	273	319	290	365	335	323	338	356	378	298	342	318	269
	転出者数	343	260	295	478	416	354	336	330	316	307	365	365	326
	社会増	△70	59	△5	△113	△81	△31	2	26	62	△9	△23	△47	△57
	人口増加数	△122	1	△69	△193	△150	△100	△77	△47	△3	△88	△117	△128	△129
	累計	△573	△572	△641	△834	△984	△1084	△1161	△1208	△1211	△1299	△1,416	△1,544	△1673
都市計画区域	出生数	60	66	54	41	65	73	55	65	62	52	55	49	59
	死亡者数	112	124	118	121	134	142	134	138	127	131	149	130	131
	自然増	△52	△58	△64	△80	△69	△69	△79	△73	△65	△79	△94	△81	△72
	転入者数	273	319	290	365	335	323	338	356	378	298	342	318	269
	転出者数	343	260	295	478	416	354	336	330	316	307	365	365	326
	社会増	△70	59	△5	△113	△81	△31	2	26	62	△9	△23	△47	△57
	人口増加数	△122	1	△69	△193	△150	△100	△77	△47	△3	△88	△117	△128	△129
	累計	△573	△572	△641	△834	△984	△1084	△1161	△1208	△1211	△1299	△1,416	△1,544	△1673
用途地域指定区域	出生数	19	21	17	13	21	23	17	21	18	15	16	14	17
	死亡者数	36	39	37	38	42	45	42	44	37	38	44	38	38
	自然増	△17	△18	△20	△25	△21	△22	△25	△23	△19	△23	△28	△24	△21
	転入者数	87	101	92	116	106	102	107	113	111	87	100	93	79
	転出者数	109	83	94	151	132	112	106	105	93	90	107	107	96
	社会増	△22	18	△2	△35	△26	△10	1	8	18	△3	△7	△14	△17
	人口増加数	△39	0	△22	△60	△47	△32	△24	△15	△1	△26	△34	△38	△38
	累計	△225	△225	△247	△307	△354	△386	△410	△425	△426	△452	△486	△524	△562

資料：住民福祉課、毎月人口異動調査

注) 平成17年以降の用途地域の人口動態数は、C0101人口総数及び用途地域指定区域人口数による人口割合を採用し算出した

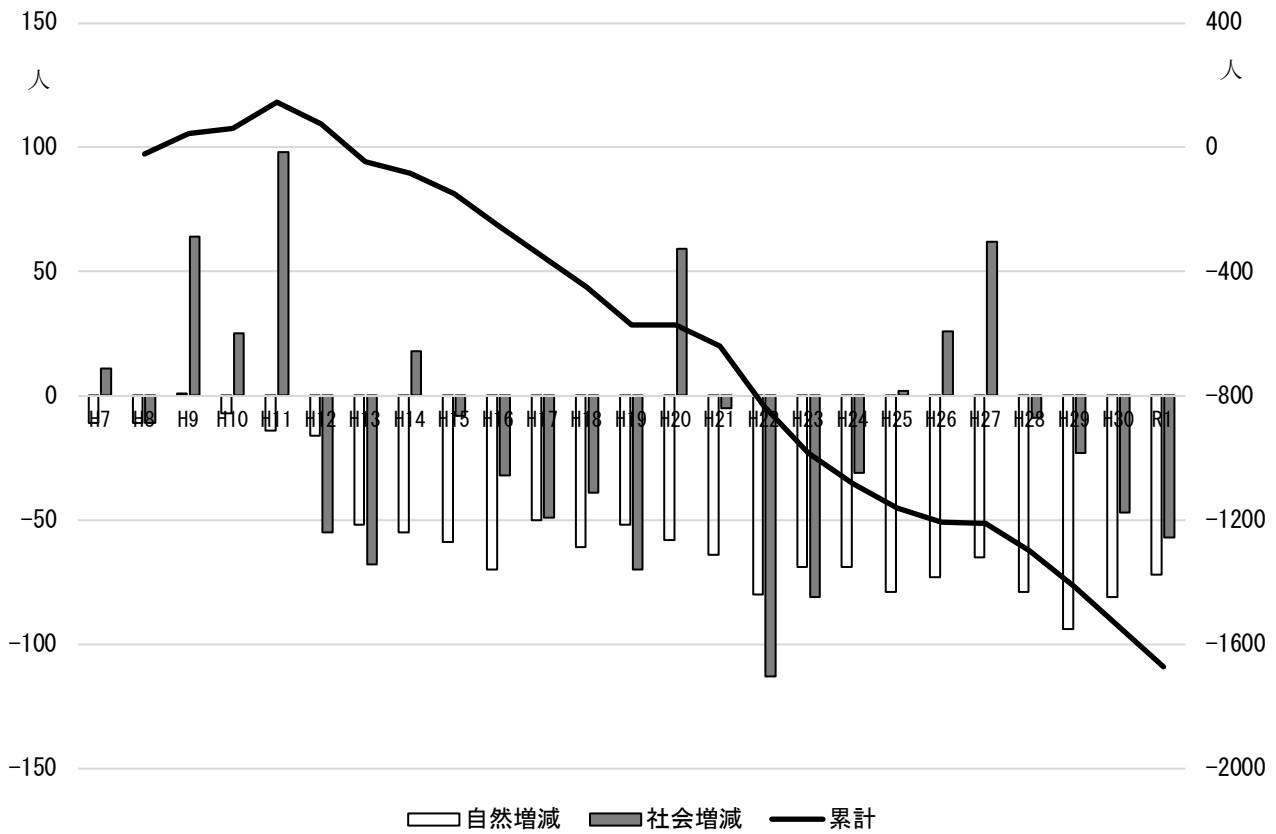


図1-7 人口動態の推移（行政区域）

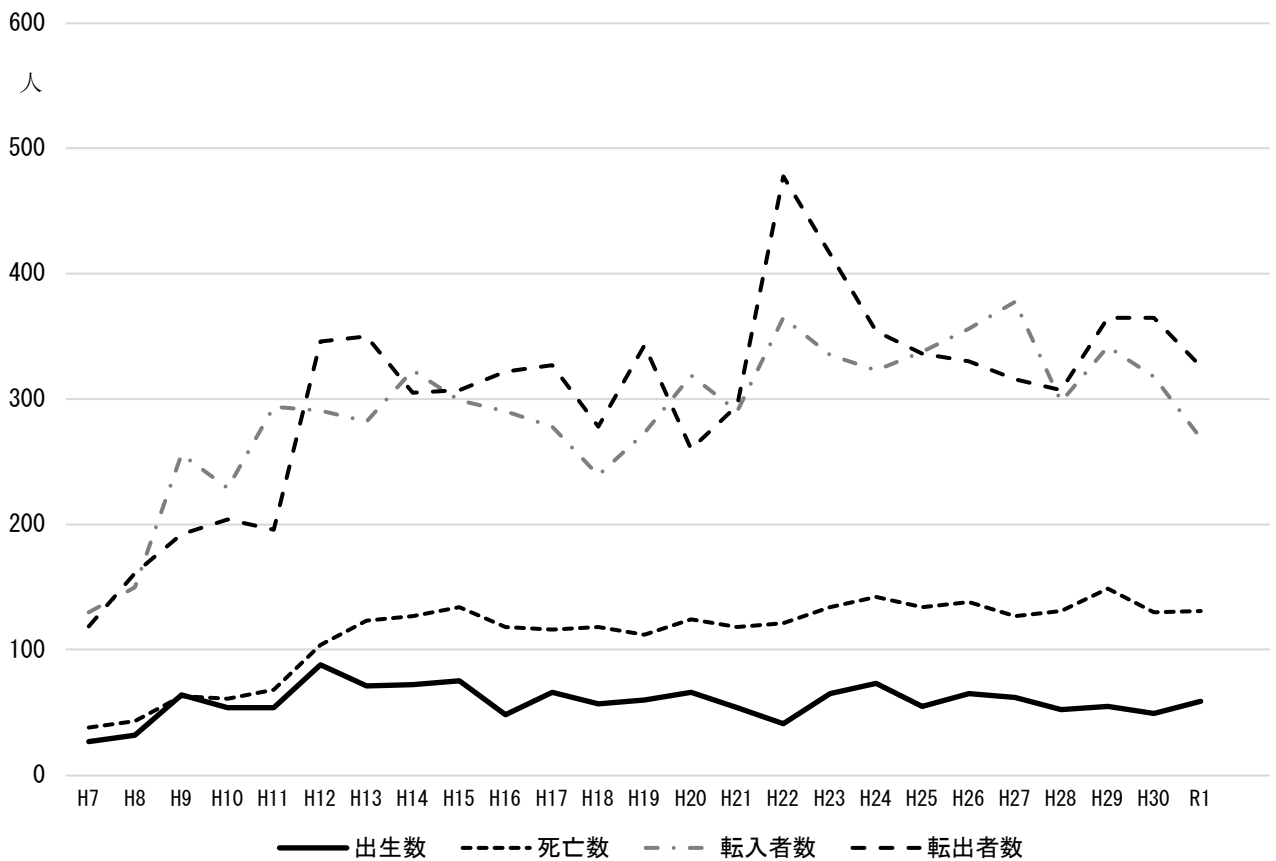


図1-8 人口動態の推移内訳（行政区域）

C0105 通勤・通学移動

平成7年から平成27年までの就業者による流出・流入人口をみると、常住地による就業者数は平成7年以降減少に転じている一方、従業地による就業者数は同様に減少傾向にあったが平成27年には微増に転じた。平成27年の常住地による就業者数は5,237人、従業地による就業者数は4,793人となっており、平成7年と比較すると、ともに1,000人以上減少している。

平成7年と平成27年の流出先・流入先を市町村別に比較すると、流出先・流入先ともに第1位は駒ヶ根市となっており、流出者数は約100人増加し、流入者数は横ばいとなっている。

また、平成27年における流出・流入率は、順に46.7%、41.7%と流出が流入を上回っている。

表1-6 流出・流入別人口推移

	常住地による 就業者数	流 出		従業地による 就業者数	流 入		従/常 就業者比率
		就業者数	流出率		就業者数	流入率	
	人	人	%	人	人	%	%
平成7年	6,382	2,015	31.6	6,140	1,773	28.9	96.2
平成12年	6,190	2,261	36.5	5,877	1,948	33.1	94.9
平成17年	6,118	2,474	40.4	5,661	2,017	35.6	92.5
平成22年	5,327	2,546	47.8	4,640	1,844	39.7	87.1
平成27年	5,237	2,444	46.7	4,793	1,997	41.7	91.5

表1-7 市町村別流出・流入先人口推移

	流 出 先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
		人	%		人	%		人	%
平成7年	駒ヶ根市	1,013	15.9	伊那市	310	4.9	飯田市	143	2.2
平成12年	駒ヶ根市	1,078	17.4	伊那市	331	5.3	宮田村	155	2.5
平成17年	駒ヶ根市	1,153	18.8	伊那市	372	6.1	宮田村	196	3.2
平成22年	駒ヶ根市	1,199	22.5	伊那市	337	6.3	松川町	195	3.7
平成27年	駒ヶ根市	1,114	21.3	伊那市	350	6.7	飯田市	188	3.6
	流 出 先								
	流出率第4位			流出率第5位					
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率			
		人	%		人	%			
平成7年	中川村	133	2.1	宮田村	118	1.8			
平成12年	中川村	150	2.4	飯田市	148	2.4			
平成17年	飯田市	182	3.0	松川町	168	2.7			
平成22年	飯田市	193	3.6	中川村	189	3.5			
平成27年	松川町	183	3.5	中川村	182	3.5			
	流 入 先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
		人	%		人	%		人	%
平成7年	駒ヶ根市	811	13.2	中川村	264	4.3	松川町	207	3.4
平成12年	駒ヶ根市	840	14.3	中川村	317	5.4	松川町	207	3.5
平成17年	駒ヶ根市	901	15.9	中川村	304	5.4	松川町	236	4.2
平成22年	駒ヶ根市	741	16.0	中川村	278	6.0	松川町	218	4.7
平成27年	駒ヶ根市	806	16.8	中川村	258	5.4	松川町	228	4.8
	流 入 先								
	流入率第4位			流入率第5位					
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率			
		人	%		人	%			
平成7年	伊那市	152	2.5	飯田市	89	1.4			
平成12年	伊那市	195	3.3	宮田村	122	2.1			
平成17年	伊那市	166	2.9	宮田村	114	2.0			
平成22年	伊那市	182	3.9	宮田村	122	2.6			
平成27年	伊那市	208	4.3	宮田村	140	2.9			

資料：国勢調査

注1) 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業者数を言う
従業地による就業者数とは、当該都市に従業する（昼間人口ベース）就業者数を言う

注2) 流出率＝流出就業者数／常住地による就業者数×100

流入率＝流入就業者数／従業地による就業者数×100

注3) (従/常) 就業者比率＝従業地による就業者数／常住地による就業者数×100

注4) 通学者数を含まない

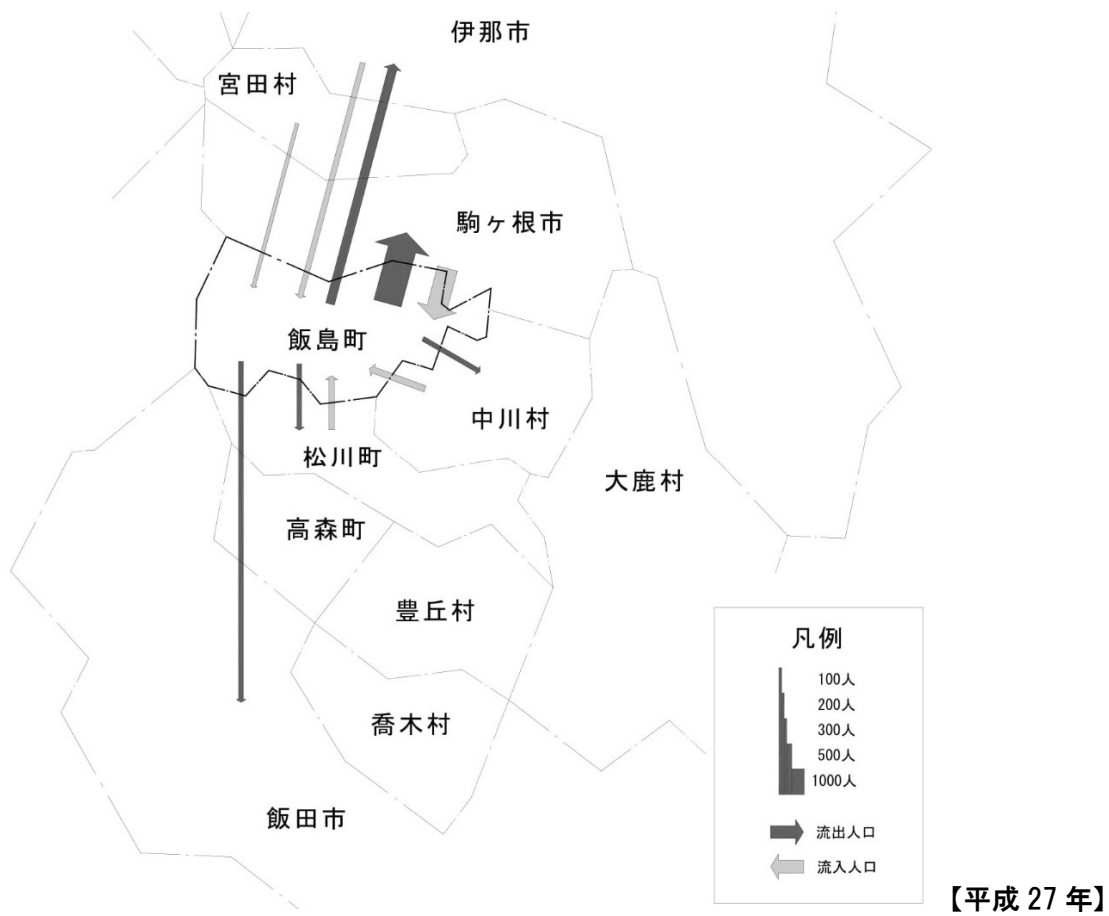
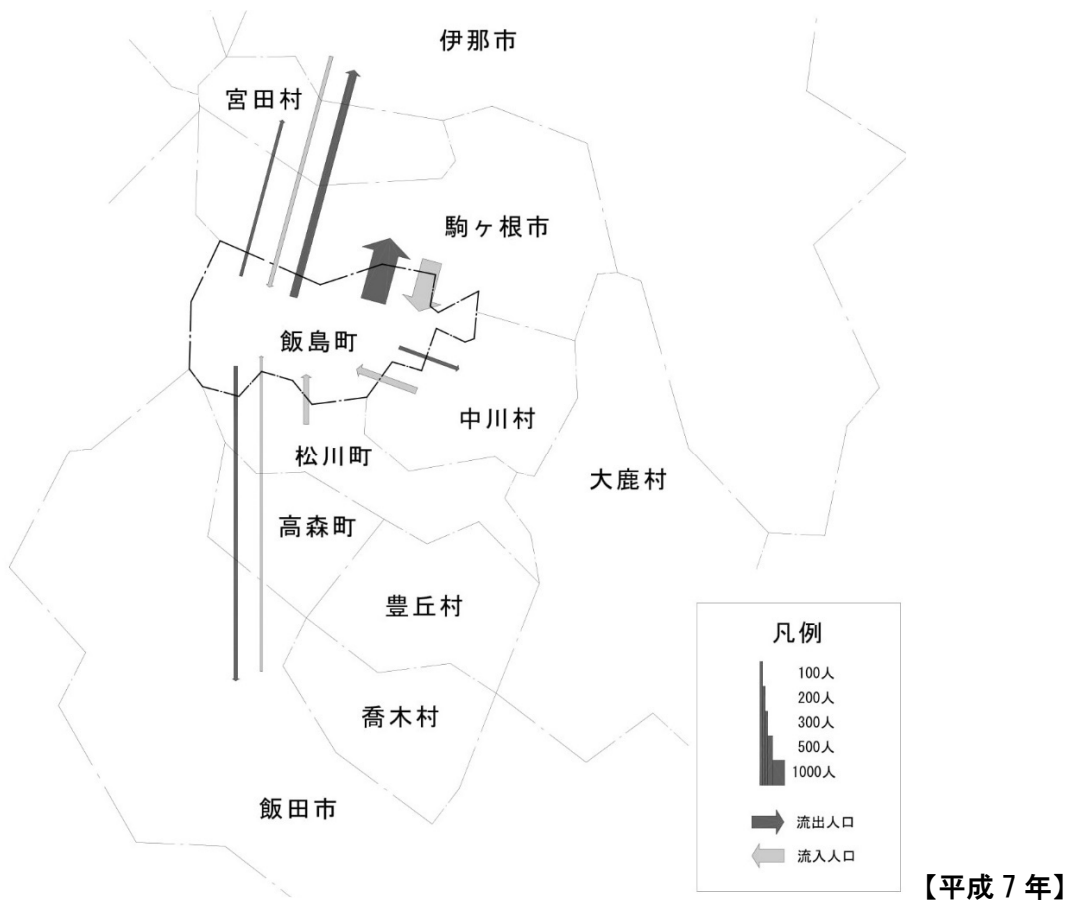


図1-9 流出・流入人口 注) 通学者を含まない

② 産 業

C0201 産業・職業大分類別就業者数

C0201-1 産業大分類別就業者数

常住地による産業大分類別就業者数の推移をみると、第1次産業人口と第2次産業人口は減少傾向、第3次産業人口は増加傾向にある。従業地による産業大分類別就業者数の推移も同様の傾向にある。

また、常住地による産業大分類別就業者数をみると、平成27年においては第3次産業人口が第2次産業人口を上回っている。

表2-1 常住地による産業大分類別就業者数推移

産業大分類	平成7年		平成12年		平成17年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %
農業	1,236	19.4	1,104	17.8	1,120	18.3
林業、狩猟業	12	0.2	9	0.1	4	0.1
漁業、水産養殖業	2	0.03	1	0.02	-	-
第1次産業合計	1,250	19.6	1,114	18.0	1,124	18.4
鉱業	24	0.4	9	0.1	11	0.2
建設業	599	9.4	625	10.1	484	7.9
製造業	2,429	38.1	2,232	36.1	2,130	34.8
第2次産業合計	3,052	47.8	2,866	46.3	2,625	42.9
電気・ガス・熱供給・水道業	33	0.5	37	0.6	23	0.4
運輸・通信業	185	2.9	195	3.2	165	2.7
卸売・小売業	782	12.3	703	11.4	650	10.6
金融・保険業	80	1.3	73	1.2	63	1.0
不動産業	5	0.08	13	0.21	10	0.2
サービス業	840	13.2	1,003	16.2	1,301	21.3
公務（他に分類されないもの）	154	2.4	167	2.7	146	2.4
第3次産業合計	2,079	32.6	2,191	35.4	2,358	38.5
分類不能の産業	1	0.02	19	0.3	11	0.18
合 計	6,382	100.0	6,190	100.0	6,118	100.0

産業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %
A. 農業、林業	848	15.9	870	16.6
B. 漁業	1	0.02	1	0.02
第1次産業合計	849	15.9	871	16.6
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	9	0.2	11	0.2
D. 建設業	410	7.7	350	6.7
E. 製造業	1,684	31.6	1,641	31.3
第2次産業合計	2,103	39.5	2,002	38.2
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	26	0.5	24	0.5
G. 情報通信業	18	0.3	25	0.5
H. 運輸業、郵便業	140	2.6	124	2.4
I. 卸売業、小売業	562	10.6	438	8.4
J. 金融業、保険業	70	1.3	55	1.1
K. 不動産業、物品賃貸業	26	0.5	26	0.5
L. 学術研究、専門・技術サービス業	87	1.6	104	2.0
M. 宿泊業、飲食サービス業	233	4.4	208	4.0
N. 生活関連サービス業、娯楽業	115	2.2	121	2.3
O. 教育、学習支援業	162	3.0	165	3.2
P. 医療、福祉	504	9.5	594	11.3
Q. 複合サービス事業	77	1.4	80	1.5
R. サービス業（他に分類されないもの）	182	3.4	211	4.0
S. 公務（他に分類されるものを除く）	161	3.0	175	3.3
第3次産業合計	2,363	44.4	2,350	44.9
T. 分類不能の産業	12	0.2	14	0.3
合 計	5,327	100.0	5,237	100.0

資料：国勢調査

注1) 「-」は該当数値なし

注2) 平成22年以降の産業大分類の項目名・定義は平成19年の日本標準産業分類の改訂後のものを適用しているため、平成17年以前のものと合致しない

表 2-2 従業地による産業大分類別就業者数推移

産業大分類	平成7年		平成12年		平成17年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %
農業	1,259	20.5	1,126	19.2	1,143	20.2
林業、狩猟業	6	0.1	8	0.1	4	0.1
漁業、水産養殖業	2	0.03	2	0.03	2	0.04
第1次産業合計	1,267	20.6	1,136	19.3	1,149	20.3
鉱業	23	0.4	12	0.2	11	0.2
建設業	505	8.2	553	9.4	413	7.3
製造業	2,891	47.1	2,603	44.3	2,493	44.0
第2次産業合計	3,419	55.7	3,168	53.9	2,917	51.5
電気・ガス・熱供給・水道業	12	0.2	8	0.1	7	0.1
運輸・通信業	109	1.8	124	2.1	115	2.0
卸売・小売業	604	9.8	519	8.8	439	7.8
金融・保険業	37	0.6	36	0.6	33	0.6
不動産業	2	0.03	6	0.10	5	0.1
サービス業	558	9.1	724	12.3	854	15.1
公務（他に分類されないもの）	132	2.1	138	2.3	134	2.4
第3次産業合計	1,454	23.7	1,555	26.5	1,587	28.0
分類不能の産業	-	-	18	0.3	8	0.1
合計	6,140	100.0	5,877	100.0	5,661	100.0

産業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %
A. 農業、林業	860	18.5	860	17.9
B. 漁業	1	0.02	1	0.02
第1次産業合計	861	18.6	861	18.0
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	12	0.3	11	0.2
D. 建設業	350	7.5	306	6.4
E. 製造業	1,856	40.0	1,942	40.5
第2次産業合計	2,218	47.8	2,259	47.1
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	8	0.2	6	0.1
G. 情報通信業	11	0.2	13	0.3
H. 運輸業、郵便業	96	2.1	95	2.0
I. 卸売業、小売業	371	8.0	318	6.6
J. 金融業、保険業	33	0.7	30	0.6
K. 不動産業、物品賃貸業	14	0.3	11	0.2
L. 学術研究、専門・技術サービス業	60	1.3	77	1.6
M. 宿泊業、飲食サービス業	147	3.2	141	2.9
N. 生活関連サービス業、娯楽業	55	1.2	53	1.1
O. 教育、学習支援業	109	2.3	109	2.3
P. 医療、福祉	311	6.7	422	8.8
Q. 複合サービス事業	54	1.2	56	1.2
R. サービス業（他に分類されないもの）	124	2.7	152	3.2
S. 公務（他に分類されるものを除く）	149	3.2	168	3.5
第3次産業合計	1,542	33.2	1,651	34.4
T. 分類不能の産業	19	0.4	22	0.5
合計	4,640	100.0	4,793	100.0

資料：国勢調査

注1) 「-」は該当数値なし

注2) 平成22年以降の産業大分類の項目名・定義は平成19年の日本標準産業分類の改訂後のものを適用しているため、平成17年以前のものとは合致しない

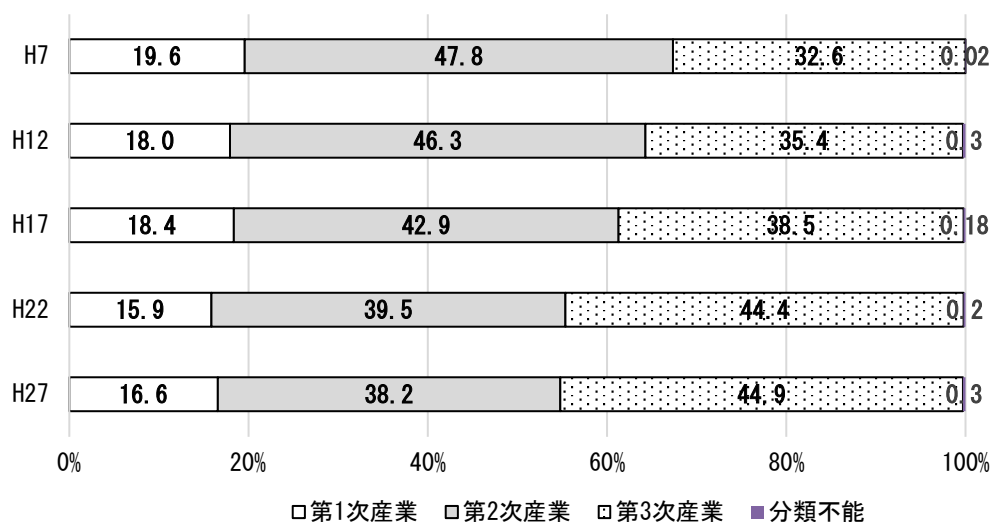


図 2 - 1 常住地による産業 3 区分別人口構成比推移

産業 3 区分別人口推計

産業 3 区分別人口推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの第 1 次産業人口及び第 2 次産業人口は減少傾向、第 3 次産業人口は微増傾向にあることが推測される。

構成比をみると、平成 27 年では第 1 次産業人口は 16.6%、第 2 次産業人口は 38.2%、第 3 次産業人口は 44.9%であるが、決定係数が最も高い関数式による 20 年後の令和 17 年の推計値は、順に 16.7%、27.0%、56.3%となることが推測される。

表 2 - 3 産業 3 区分別人口推計 【常住地就業者数】

第 1 次産業人口	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年 (基準年次)	令和 2 年	令和 7 年 (10 年後)	令和 12 年	令和 17 年 (20 年後)
実績値	1,250	1,114	1,124	849	871				
推計値									
1 次式						735	632	530	428
2 次式						750	663	581	503
指数式						764	692	626	567
対数式						887	865	846	830
べき乗式						887	869	854	841

第 2 次産業人口	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年 (基準年次)	令和 2 年	令和 7 年 (10 年後)	令和 12 年	令和 17 年 (20 年後)
実績値	3,052	2,866	2,625	2,103	2,002				
推計値									
1 次式						1,671	1,384	1,098	812
2 次式						1,615	1,273	916	542
指数式						1,765	1,573	1,402	1,249
対数式						2,112	2,053	2,004	1,960
べき乗式						2,118	2,070	2,029	1,995

第 3 次産業人口	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年 (基準年次)	令和 2 年	令和 7 年 (10 年後)	令和 12 年	令和 17 年 (20 年後)
実績値	2,079	2,191	2,358	2,363	2,350				
推計値									
1 次式						2,482	2,554	2,625	2,697
2 次式						2,276	2,142	1,948	1,696
指数式						2,494	2,575	2,659	2,746
対数式						2,394	2,411	2,426	2,439
べき乗式						2,397	2,417	2,433	2,447

資料：国勢調査

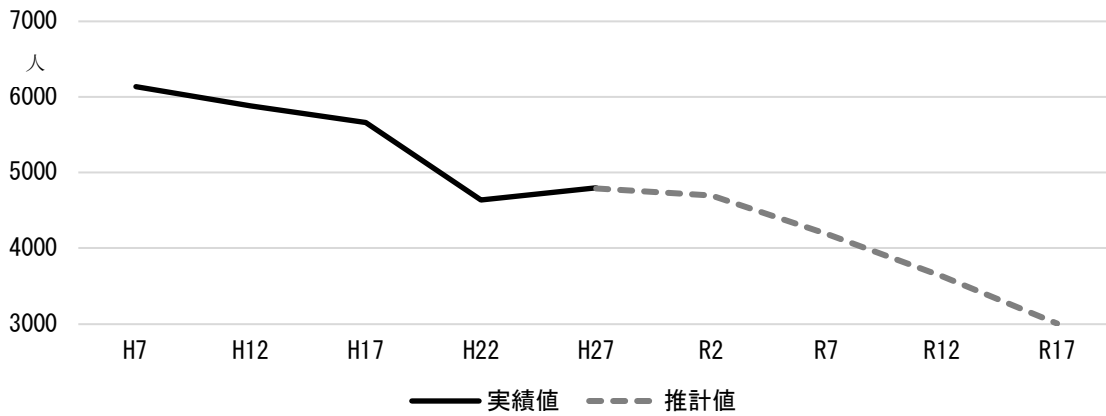


図 2 - 2 産業人口推計 (関数式による)

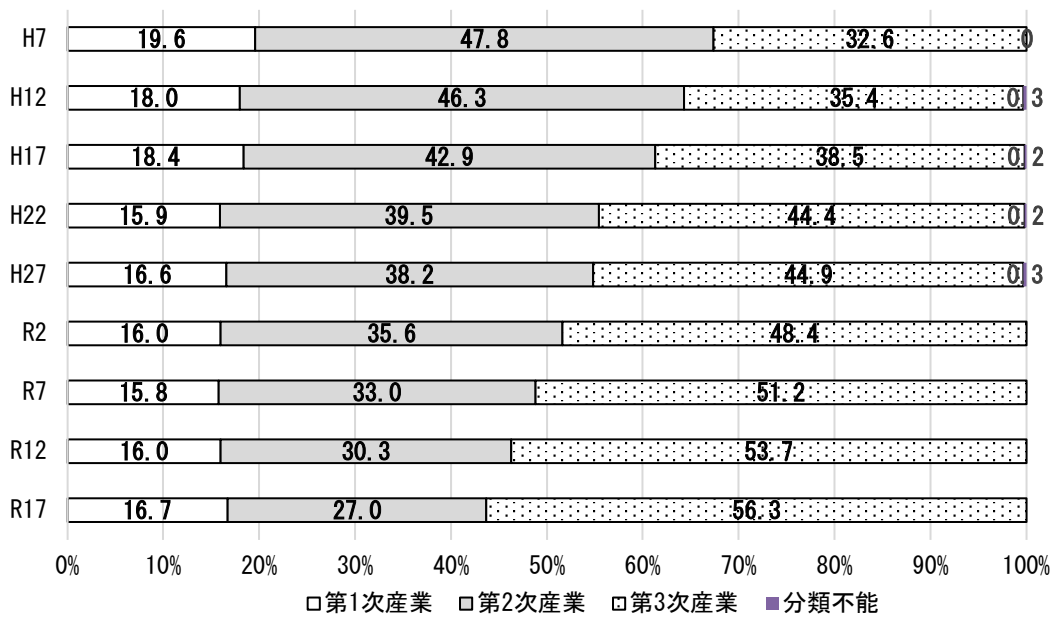


図 2 - 3 産業 3 区分別人口推計構成比 (関数式による)

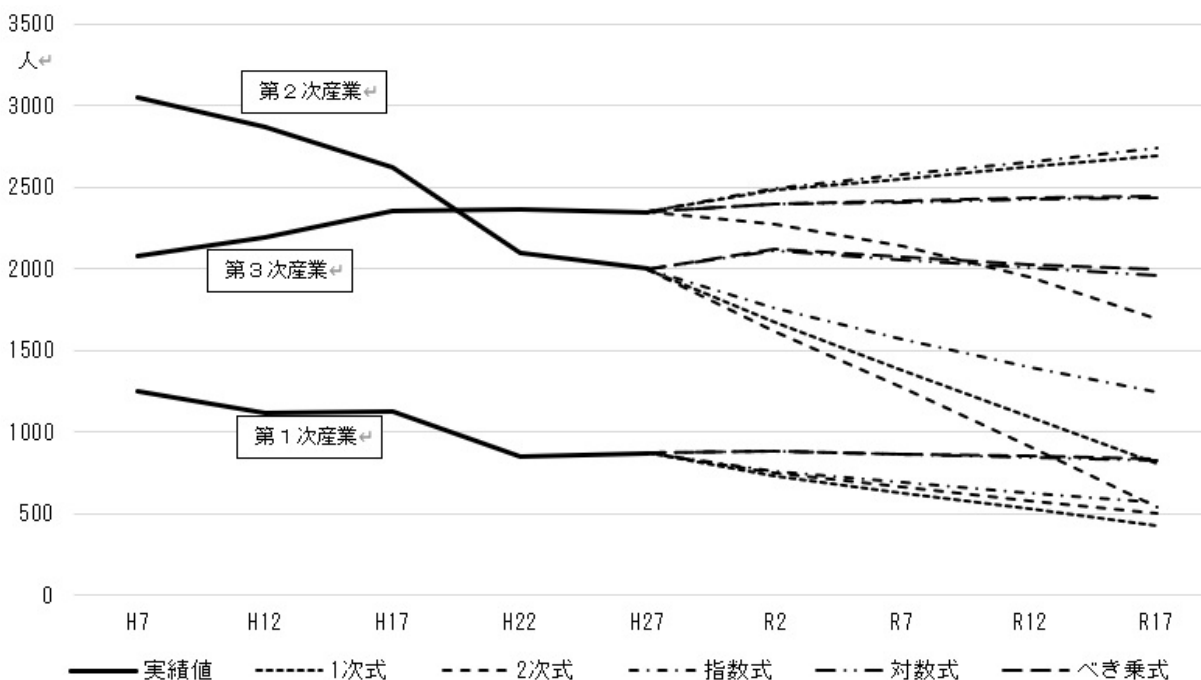


図 2 - 4 産業 3 区分別人口推計

C0201-2 職業大分類別就業者数

平成 27 年の職業大分類別人口をみると、常住地・従業地の別に関わらず生産工程従事者が最も多く、続いて農林漁業従事者、事務従事者の順に多い。就業者数が最も多い生産工程従事者について、常住地による就業者数は 1,399 人(26.7%)、従業地による就業者数は 1,636 人(34.1%)となっている。

表 2-4 常住地による職業大分類別就業者数推移

職業大分類	平成7年		平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%
A 専門的・技術的職業従事者	453	7.1	520	8.4	490	8.0
B 管理的職業従事者	171	2.7	146	2.4	112	1.8
C 事務従事者	762	11.9	774	12.5	736	12.0
D 販売従事者	493	7.7	454	7.3	500	8.2
E サービス職業従事者	298	4.7	334	5.4	448	7.3
F 保安職業従事者	29	0.5	42	0.7	40	0.7
G 農林漁業従事者	1,174	18.4	1,065	17.2	1,044	17.1
H 運輸・通信従事者	141	2.2	155	2.5	130	2.1
I 生産工程・労務従事者	2,861	44.8	2,681	43.3	2,605	42.6
J 分類不能の職業	-	-	19	0.3	13	0.2
合計	6,382	100.0	6,190	100.0	6,118	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%
A 管理的職業従事者	133	2.5	152	2.9
B 専門的・技術的職業従事者	548	10.3	602	11.5
C 事務従事者	716	13.4	719	13.7
D 販売従事者	444	8.3	348	6.6
E サービス職業従事者	508	9.5	514	9.8
F 保安職業従事者	46	0.9	48	0.9
G 農林漁業従事者	768	14.4	812	15.5
H 生産工程従事者	1,480	27.8	1,399	26.7
I 輸送・機械運転従事者	127	2.4	134	2.6
J 建設・採掘従事者	235	4.4	202	3.9
K 運搬・清掃・包装等従事者	313	5.9	293	5.6
L 分類不能の職業	9	0.2	14	0.3
合計	5,327	100.0	5,237	100.0

資料：国勢調査

注1) 「-」は該当数値なし

注2) 平成 22 年以降の職業大分類の項目名・定義は平成 21 年の日本標準職業分類の改訂後のものを適用しているため、平成 17 年以前のものと合致しない

表 2-5 従業地による職業大分類別就業者数推移

職業大分類	平成7年		平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%	人	%
A 専門的・技術的職業従事者	330	5.4	404	6.9	389	6.9
B 管理的職業従事者	173	2.8	133	2.3	100	1.8
C 事務従事者	623	10.1	657	11.2	624	11.0
D 販売従事者	351	5.7	315	5.4	311	5.5
E サービス職業従事者	219	3.6	244	4.2	287	5.1
F 保安職業従事者	27	0.4	22	0.4	37	0.7
G 農林漁業従事者	1,164	19.0	1,052	17.9	1,041	18.4
H 運輸・通信従事者	75	1.2	110	1.9	100	1.8
I 生産工程・労務作業従事者	3,178	51.8	2,923	49.7	2,764	48.8
J 分類不能の職業	-	-	17	0.3	8	0.1
合計	6,140	100.0	5,877	100.0	5,661	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
	人	%	人	%
A 管理的職業従事者	126	2.7	138	2.9
B 専門的・技術的職業従事者	344	7.4	384	8.0
C 事務従事者	527	11.4	601	12.5
D 販売従事者	276	5.9	227	4.7
E サービス職業従事者	345	7.4	406	8.5
F 保安職業従事者	35	0.8	32	0.7
G 農林漁業従事者	758	16.3	793	16.5
H 生産工程従事者	1,626	35.0	1,636	34.1
I 輸送・機械運転従事者	104	2.2	103	2.1
J 建設・採掘従事者	217	4.7	181	3.8
K 運搬・清掃・包装等従事者	264	5.7	273	5.7
L 分類不能の職業	18	0.4	19	0.4
合計	4,640	100.0	4,793	100.0

資料：国勢調査

注1) 「-」は該当数値なし

注2) 平成22年以降の職業大分類の項目名・定義は平成21年の日本標準職業分類の改訂後のものを適用しているため、平成17年以前のものとは合致しない

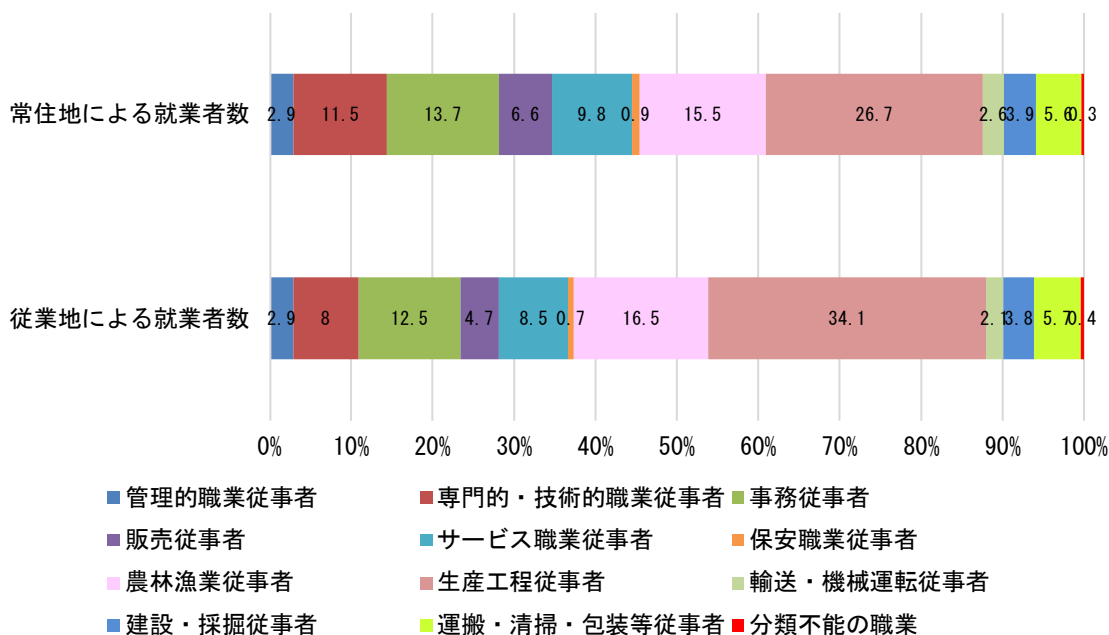


図 2-5 職業大分類別人口構成比 (平成27年)

C0202 事業所数・従業者数・売上金額

C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額

平成 28 年における事業所数は 425 事業所であり、そのうち製造業が 77 事業所 (18.1%)、卸売業、小売業が 68 事業所 (16.0%)、建設業 65 事業所 (15.3%) となっている。従業者数については事業所数と同様に製造業が 1,607 人 (45.9%) と最も多く、次いで卸売業、小売業が 359 人 (10.3%) となっている。

平成 21 年から平成 28 年までの事業所数と従業者数の推移をみると、両者とも減少傾向にあり、事業所数は 46 事業所、従業者数は 672 人減少となっている。

表 2-6 産業大分類別事業所数・従業者数推移及び売上金額

産業大分類	平成 21 年			平成 23 年			平成 26 年		
	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)
A. B. 農林漁業	16	254		16	236	934	15	207	
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	4	23		2	13	x	2	11	
D. 建設業	72	379		59	286	...	66	285	
E. 製造業	73	1,817		77	1,376	28,728	80	1,944	
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	16		-	-	...	1	5	
G. 情報通信業	2	2		2	3	...	3	6	
H. 運輸業、郵便業	9	99		8	101	...	6	88	
I. 卸売業、小売業	88	425		68	398	3,945	72	430	
J. 金融業、保険業	4	34		4	29	...	3	27	
K. 不動産業、物品賃貸業	7	10		9	22	599	10	34	
L. 学術研究、専門・技術サービス業	17	57		17	48	258	18	49	
M. 宿泊業、飲食サービス業	59	272		51	222	480	51	210	
N. 生活関連サービス業、娯楽業	35	69		32	54	274	35	57	
O. 教育、学習支援業	12	98		10	16	...	16	102	
P. 医療、福祉	39	351		32	277	1,208	37	370	
Q. 複合サービス事業	5	64		5	75	...	6	56	
R. サービス業（他に分類されないもの）	22	87		25	93	...	25	97	
S. 公務（他に分類されるものを除く）	6	114					6	151	
合計	471	4,171		417	3,249	...	452	4,129	

産業大分類	平成 28 年		
	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)
A. B. 農林漁業	15	227	1,349
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	1	7	x
D. 建設業	65	303	...
E. 製造業	77	1,607	49,301
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
G. 情報通信業	3	6	...
H. 運輸業、郵便業	6	84	...
I. 卸売業、小売業	68	359	5,562
J. 金融業、保険業	3	26	...
K. 不動産業、物品賃貸業	10	38	307
L. 学術研究、専門・技術サービス業	18	48	307
M. 宿泊業、飲食サービス業	50	198	644
N. 生活関連サービス業、娯楽業	35	53	248
O. 教育、学習支援業	11	16	...
P. 医療、福祉	34	354	1,721
Q. 複合サービス事業	6	79	...
R. サービス業（他に分類されないもの）	23	94	...
合計	425	3,499	...

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス-基礎調査・活動調査

注 1) 「-」は該当数値なし、「x」は統計法により公表を控えたもの

注 2) 売上金額について事業所単位の把握ができない一部の産業については「…」で表す

注 3) 平成 23 年、28 年は全事業所ではなく民営事業所のみで、売上金額はさらに外国の会社及び法人でない団体を除く

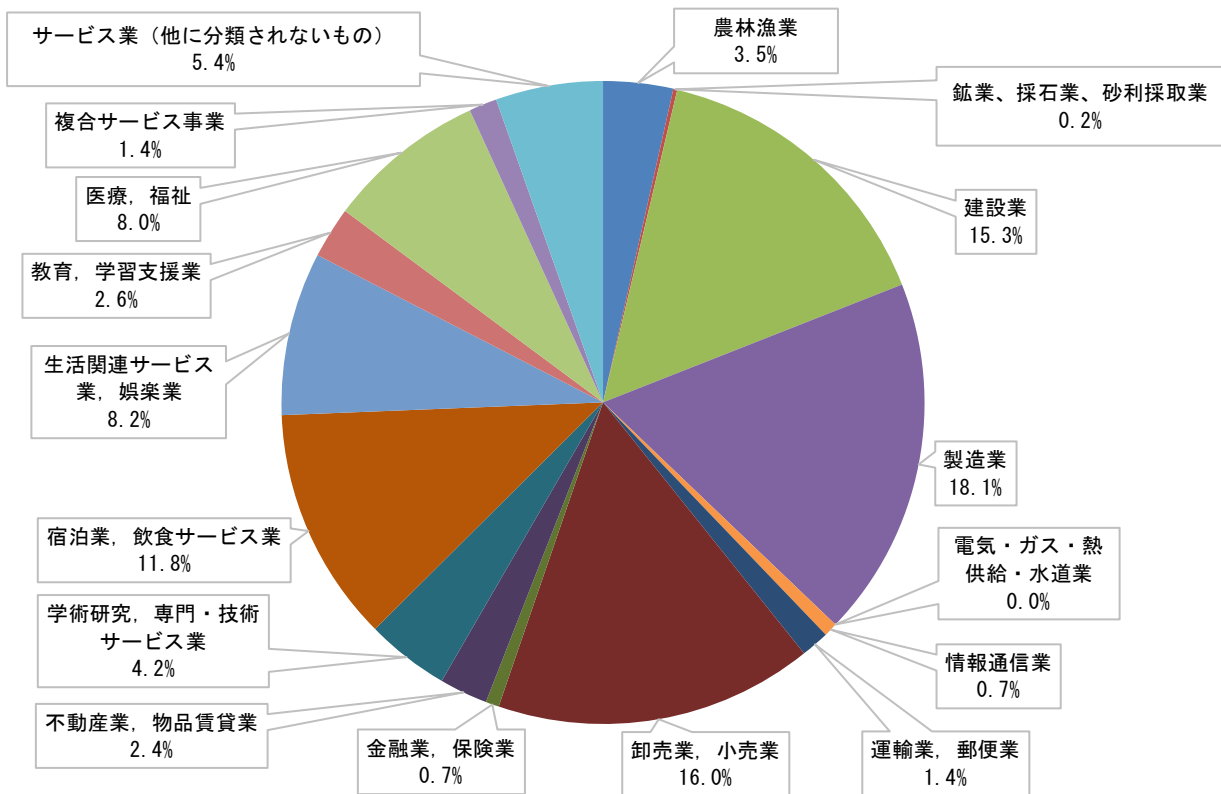


図 2 - 6 産業大分類別事業所数構成比（平成 28 年）

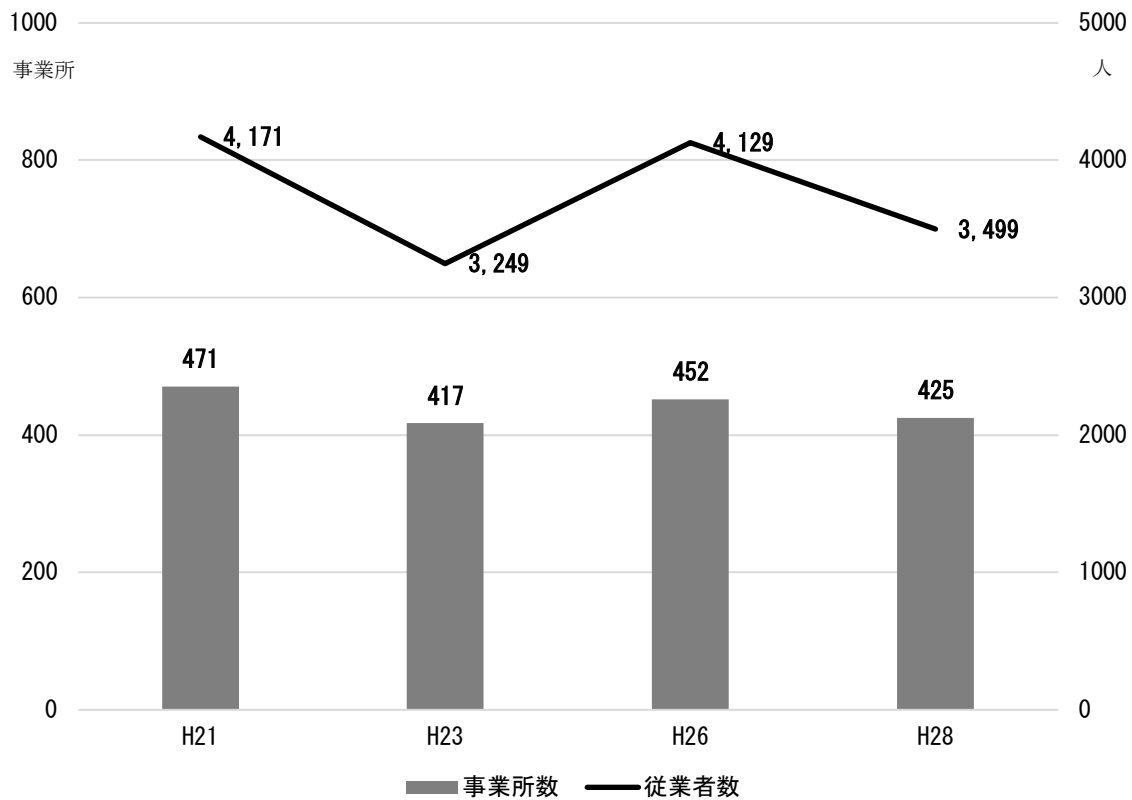


図 2 - 7 事業所数・従業者数推移

C0202-2 産業中分類別工業出荷額

工業出荷額の推移をみると、平成7年から平成20年までは400億円から500億円程度で増減を繰り返しながら推移した後、平成23年に270億円程度まで減少し、その後平成29年にかけて580億円程度まで増加している。

平成30年の工業出荷額を中分類別に構成比でみると、食料品製造業が36.1%、次いで窯業・土石製品製造業が22.9%で、両者を合わせると全体の約6割を占めている。

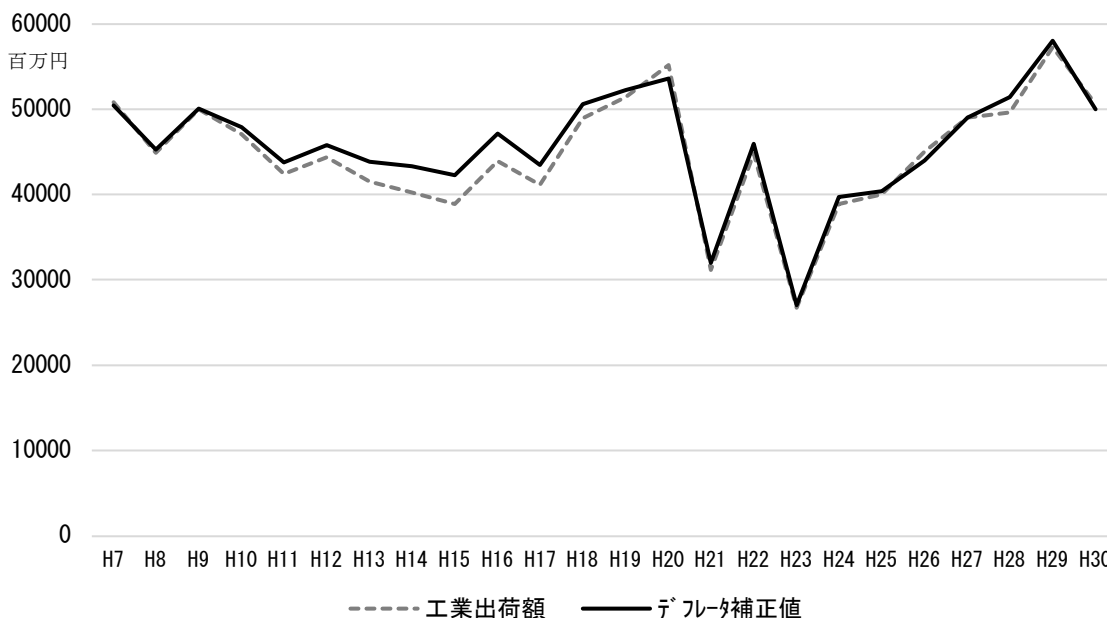


図2-8 工業出荷額推移

表2-7 工業出荷額推移

単位：百万円

	工業出荷額	デフレーター補正值
平成7年	50,851	50,431
平成8年	44,864	45,252
平成9年	50,009	50,101
平成10年	47,064	47,894
平成11年	42,425	43,775
平成12年	44,364	45,771
平成13年	41,485	43,814
平成14年	40,205	43,347
平成15年	38,868	42,278
平成16年	43,912	47,149
平成17年	41,141	43,474
平成18年	48,959	50,617
平成19年	51,394	52,230
平成20年	55,162	53,608
平成21年	31,194	31,994
平成22年	44,779	45,974
平成23年	26,762	27,089
平成24年	38,859	39,676
平成25年	40,029	40,369
平成26年	45,031	44,001
平成27年	48,985	48,985
平成28年	49,607	51,411
平成29年	57,291	58,036
平成30年	50,624	49,991

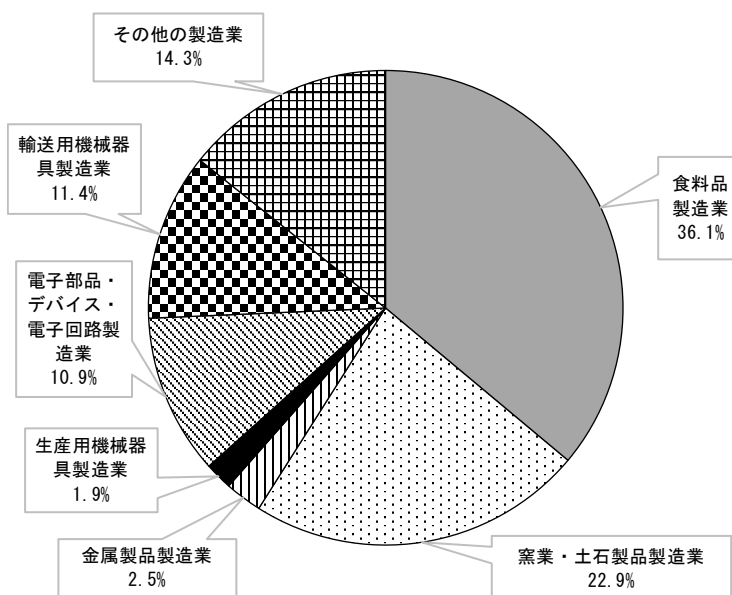


図2-9 産業中分類別工業出荷額構成比（平成30年）

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査

工業出荷額推計

デフレーター補正額による工業出荷額推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの 400 億円から 500 億円程度で推移すると考えられる。

なお、本推計は数学的手法に基づいて算出した結果であり、過去の工業出荷額推移の影響を強く受けている。

表 2-8 工業出荷額推計 (デフレーター補正值)

単位:百万円

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年 (基準年次)	令和2年	令和7年 (10年後)	令和12年	令和17年 (20年後)
実績値(デフレーター補正值)	50,431	45,771	43,474	45,974	48,985				
推計値 1次式						46,120	45,851	45,583	45,314
2次式						56,190	65,990	78,668	94,223
指数式						46,106	45,858	45,611	45,365
対数式						45,491	45,291	45,120	44,971
べき乗式						45,480	45,290	45,129	44,989

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査

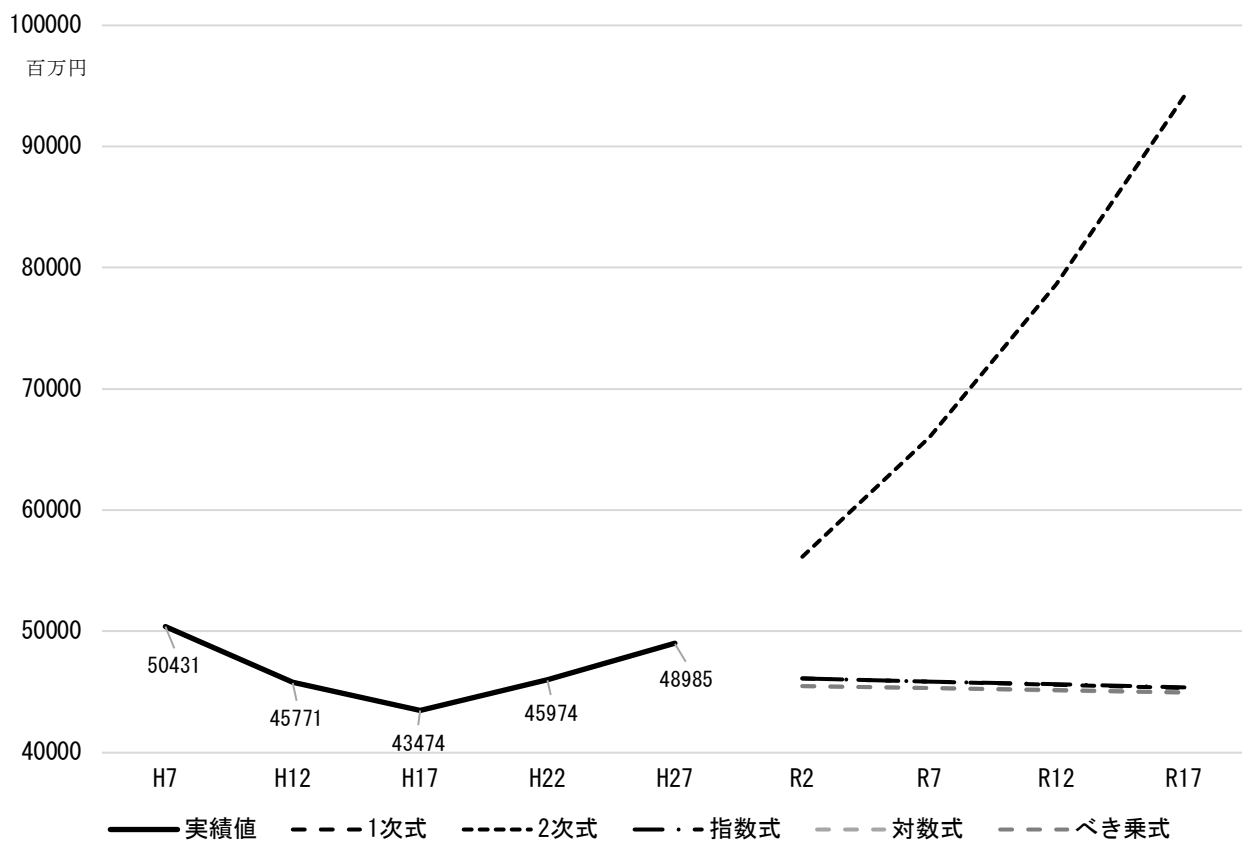


図 2-10 工業出荷額推計

C0202-3 産業中分類別商業販売額

年間商品販売額のデフレーター補正值での推移をみると、平成3年には約140億円であったが、平成14年に100億円を下回り、平成28年には約50億円まで減少している。平成23年から平成28年にかけては約40億円から50億円程度と横ばいで推移している。

また、平成28年の産業中分類別商品販売額を構成比でみると、飲食料品小売業が32.7%と最も多くなっている。

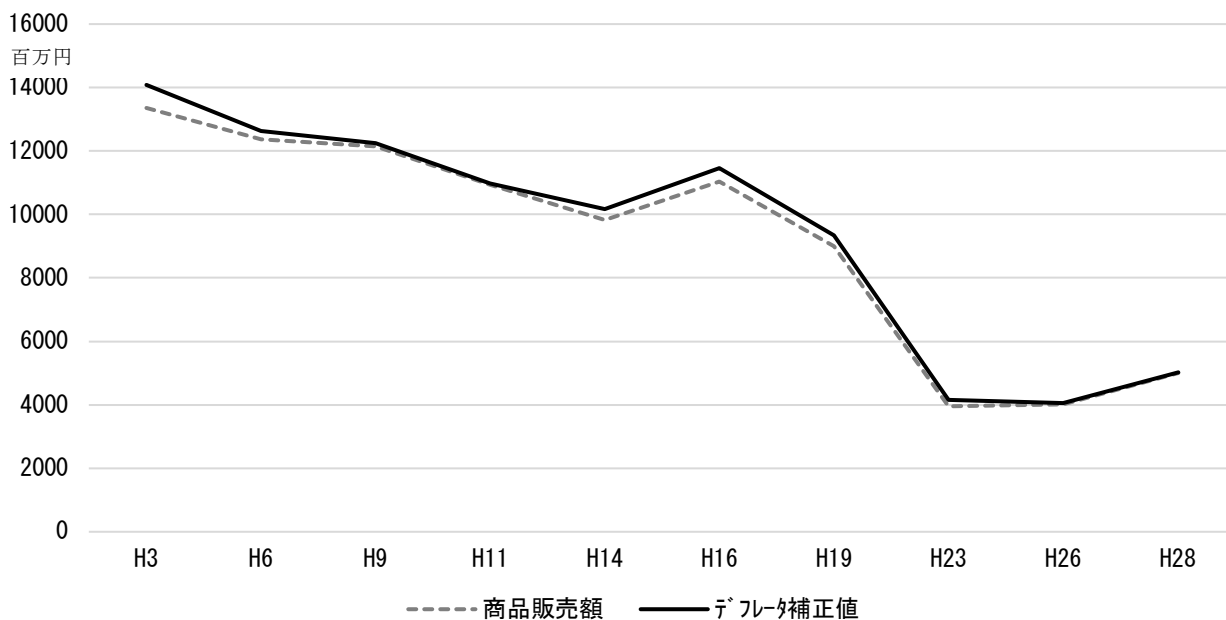
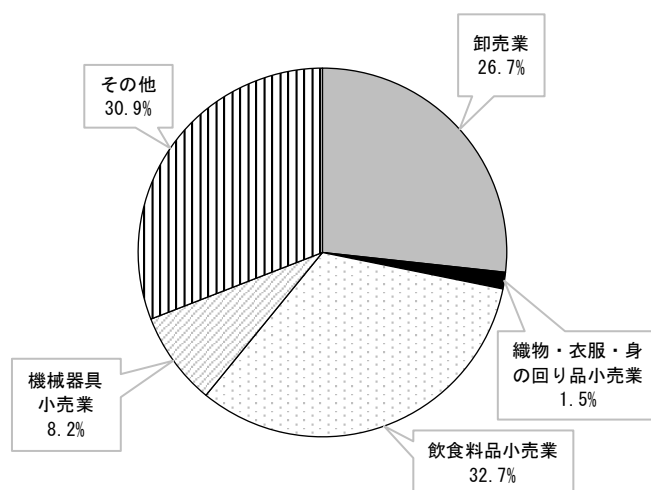


図2-11 年間商品販売額推移

表2-9 年間商品販売額推移

単位：百万円

	商品販売額	デフレーター補正值
平成3年	13,356	14,089
平成6年	12,364	12,629
平成9年	12,144	12,242
平成11年	10,927	10,982
平成14年	9,825	10,171
平成16年	11,034	11,458
平成19年	8,994	9,340
平成23年	3,969	4,160
平成26年	4,016	4,057
平成28年	5,011	5,016



資料：商業統計調査、
経済センサス-活動調査（卸売業・小売業）

図2-12 産業中分類別年間商品販売額構成比
(平成28年)

商品販売額推計

デフレーター補正額による商品販売額推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの、令和2年以降も減少傾向が続く可能性が高いことが推測される。

なお、本推計は数学的手法に基づいて算出した結果であり、過去の年間商品販売額推移の影響を強く受けている。

表2-10 年間商品販売額推計 (デフレーター補正值)

単位:百万円

	平成14年	平成16年	平成19年	平成23年	平成26年	平成28年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年
実績値	10,171	11,458	9,340	4,160	4,057	5,016				
推計値 1次式							1,483	-1,191	-3,866	-6,540
2次式							3,206	2,981	3,662	5,250
指数式							2,933	2,012	1,381	947
対数式							4,194	3,577	3,077	2,656
べき乗式							4,285	3,926	3,657	3,445

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査（卸売業・小売業）

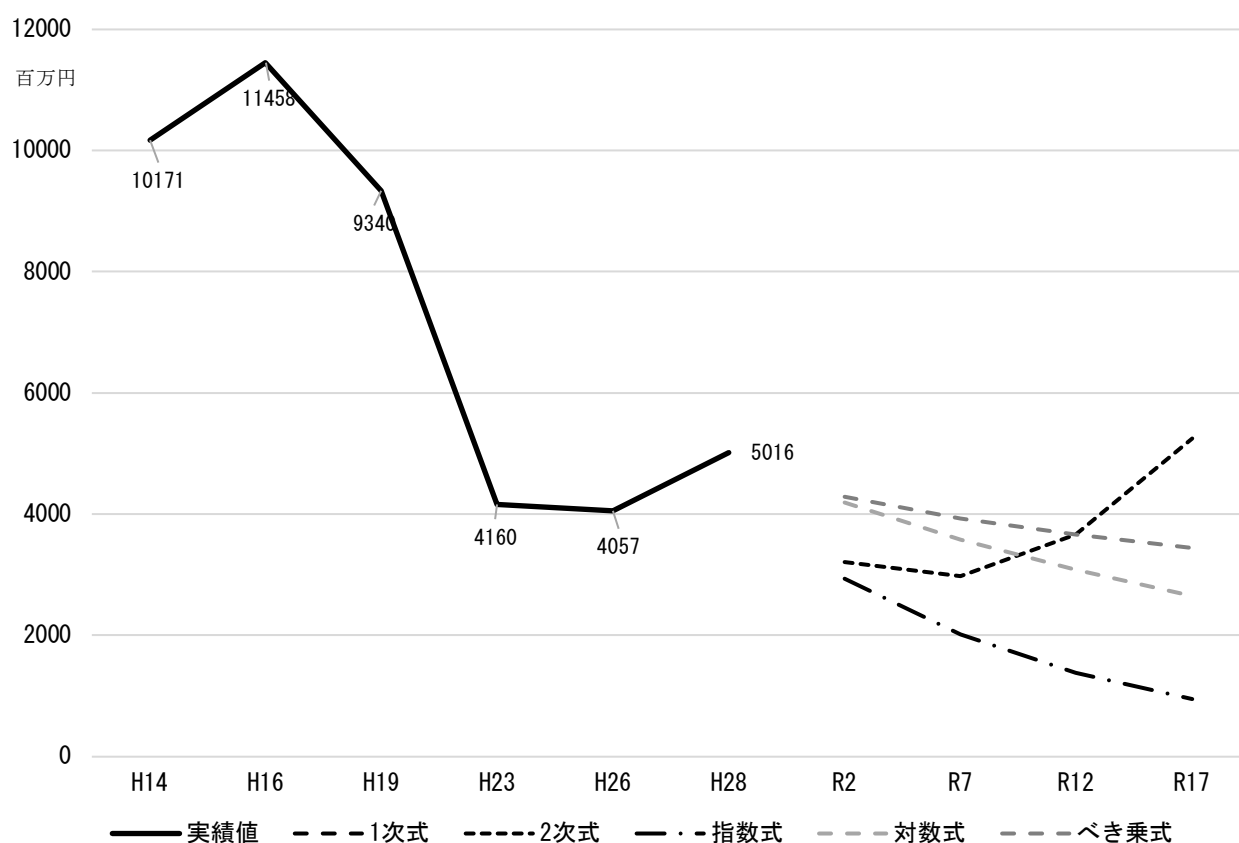


図2-13 年間商品販売額推計

③ 土地利用

C0302 土地利用現況

C0302-2 土地利用別面積

都市計画区域における土地利用別現況は、自然的土地利用が 3,783.0ha (82.1%) であり、そのうち山林が 2,282.1ha (49.5%)、農地が 1,302.5ha (28.3%) を占めている。都市的土地利用は 825.0ha (17.9%) であり、そのうち宅地は 384.9ha (8.4%) である。

また、用途地域指定区域 218.0ha のうち 167.2ha (76.7%) が都市的土地利用であり、100.5ha (46.1%) が宅地である。農地は用途地域指定区域内に 43.9ha (20.1%) 残存している。用途地域指定外区域は 4,390.0ha のうち 3,732.2ha (85.0%) が自然的土地利用であり、山林が 2,279.1ha (51.9%)、農地が 1,258.6ha (28.7%) を占めている。

表 3-1 土地利用別面積

市街地区区分	自然的土地利用							都市的土地利用										合計	可住地	非可住地
	農地			山林	水面	その他の自然	小計	宅地				(注1)公共・公益用地	道路用地	交通施設用地	その他の公的施設用地	その他の空地	小計			
	田	畑	小計					住宅用地	商業用地	工業用地	小計									
				ha	ha	ha	ha					ha	ha	ha	ha	ha	ha			
用途地域指定区域	23.0	20.9	43.9	3.0	0.5	3.4	50.8	59.5	8.7	32.3	100.5	8.3	40.4	2.3		15.7	167.2	218.0	163.1	54.9
用途地域指定外区域	907.6	351.0	1,258.6	2,279.1	65.0	129.5	3,732.2	218.5	17.7	48.2	284.4	38.8	250.0	14.1		70.5	657.8	4,390.0	3,892.6	497.4
都市計画区域計	930.6	371.9	1,302.5	2,282.1	65.5	132.9	3,783.0	278.0	26.4	80.5	384.9	47.1	290.4	16.4		86.2	825.0	4,608.0	4,055.7	552.3
都市計画区域外計				4,062.1	5.5	7.6	4,075.2					0.6	12.2			12.8	4,088.0	4,062.1		25.9
合計	930.6	371.9	1,302.5	6,344.2	71.0	140.5	7,858.2	278.0	26.4	80.5	384.9	47.7	302.6	16.4		86.2	837.8	8,696.0	8,117.8	578.2

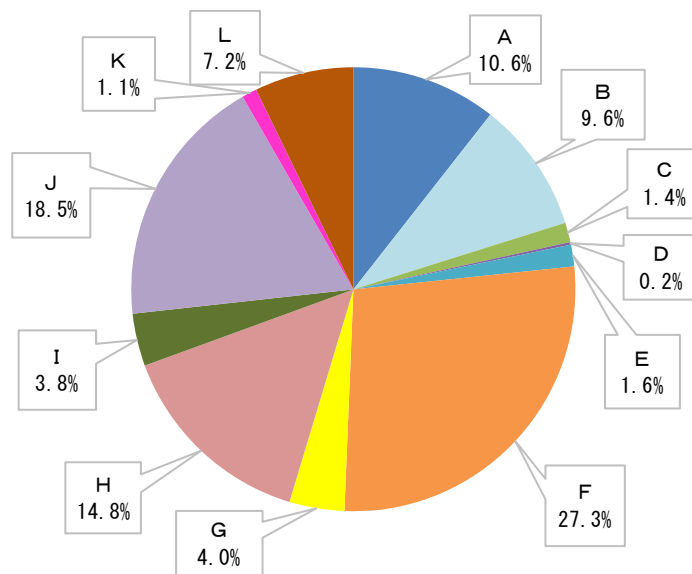
資料：土地利用現況図

注 1) 「公共・公益用地」は土地利用現況図の「公益施設用地」と「公共空地」の合計

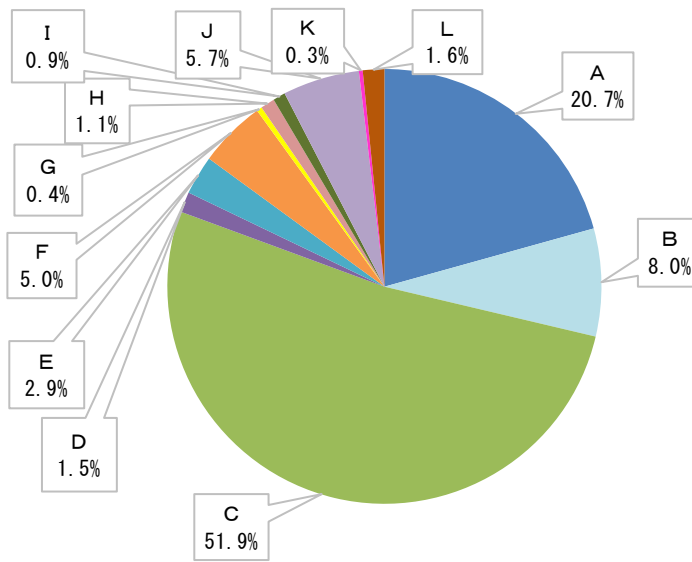
注 2) 非可住地は、以下の通りとする

「水面」、「その他の自然地」、「商業用地」の内敷地面積 1ha 以上の大規模施設用地、「公共・公益用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「その他公的施設用地」
これらのほか、土地利用状況に関係なくすべての工業専用地域

用途地域指定区域	面積ha	構成比
A田	23.0	10.6%
B畑	20.9	9.6%
C山林	3.0	1.4%
D水面	0.5	0.2%
Eその他の自然地	3.4	1.6%
F住宅用地	59.5	27.3%
G商業用地	8.7	4.0%
H工業用地	32.3	14.8%
I公共・公益用地	8.3	3.8%
J道路用地	40.4	18.5%
K交通施設用地	2.3	1.1%
Lその他の空地	15.7	7.2%
合計	218.0	100.0%



用途地域指定外区域	面積ha	構成比
A田	907.6	20.7%
B畑	351.0	8.0%
C山林	2279.1	51.9%
D水面	65.0	1.5%
Eその他の自然地	129.5	2.9%
F住宅用地	218.5	5.0%
G商業用地	17.7	0.4%
H工業用地	48.2	1.1%
I公共・公益用地	38.8	0.9%
J道路用地	250.0	5.7%
K交通施設用地	14.1	0.3%
Lその他の空地	70.5	1.6%
合計	4390.0	100.0%



都市計画区域	面積ha	構成比
A田	930.6	20.2%
B畑	371.9	8.1%
C山林	2282.1	49.5%
D水面	65.5	1.4%
Eその他の自然地	132.9	2.9%
F住宅用地	278.0	6.0%
G商業用地	26.4	0.6%
H工業用地	80.5	1.7%
I公共・公益用地	47.1	1.0%
J道路用地	290.4	6.3%
K交通施設用地	16.4	0.4%
Lその他の空地	86.2	1.9%
合計	4608.0	100.0%

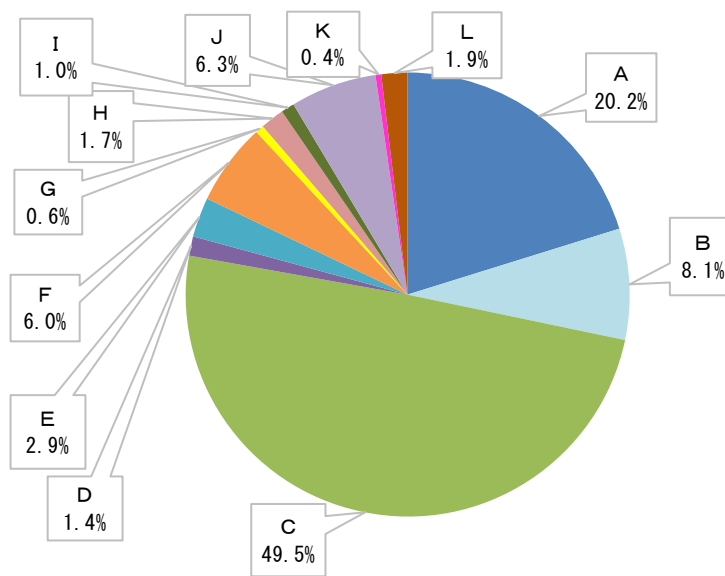


図3-1 土地利用別面積構成比

C0304 宅地開発状況

平成 27 年から令和元年の過去 5 年間の開発行為の許可状況は、工業系が 2 件、その他が 2 件の合計 4 件であり、総面積は約 5.5ha になる。

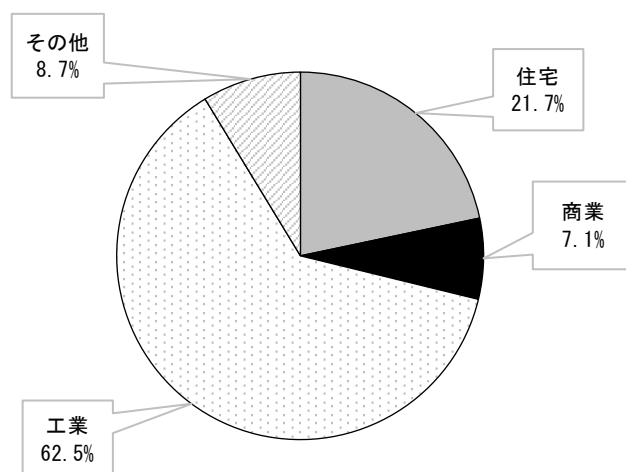
また、令和元年までの面整備実績は累計 53.75ha で、そのうち平成 26 年以前は 48.28ha、平成 27 年から令和元年が 5.47ha となっている。

表 3-2 開発行為許可状況

年次	都市計画区域									
	住宅		商業		工業		その他		合計	
	件数 件	面積 ㎡	件数 件	面積 ㎡	件数 件	面積 ㎡	件数 件	面積 ㎡	件数 件	面積 ㎡
平成22年										
平成23年										
平成24年										
平成25年							2	2,785.84	2	2,785.84
平成26年					2	57,291.09	6	31,477.93	8	88,769.02
平成27年										
平成28年							1	4,684.60	1	4,684.60
平成29年					1	9,542.63	1	3,190.26	2	12,732.89
平成30年										
令和元年					1	37,243.69			1	37,243.69
小計 (平成26年)	16	116,880.00	4	37,981.00	21	289,180.28	9	38,776.06	50	482,817.34
小計 (平成27年～令和元年)					2	46,786.32	2	7,874.86	4	54,661.18
合計 (平成26年～令和元年)	16	116,880.00	4	37,981.00	23	335,966.60	11	46,650.92	54	537,478.52

資料：開発行為許可申請書、発電施設等の設置（変更）計画書

注）平成 26 年 2 月以降は「発電施設等の設置（変更）計画書」の 1,000 ㎡以上のものを含む



注) 令和元年までの合計面積割合

図 3 - 2 用途別開発許可状況構成比

表 3 - 3 面整備実績

資料：開発行為許可申請書、発電施設等の設置（変更）計画書

注 1) 「公的宅地開発」「開発許可」以外のもの

注 2) 市街地開発事業によらない、公団・公社・市町村等の公的住宅造成

注 3) 開発許可による開発行為、及び「(旧)住宅地造成事業に関する法律」により許可された宅地造成

注 4) 平成 26 年 2 月以降は「発電施設等の設置（変更）計画書」の 1,000 m²以上のものを含む

注 5) 「市街地開発事業等」及び「公的宅地開発」の面整備実績はない

完了年次	市街地開発事業等 (注 1)	公的宅地開発 (注 2)	開発許可等 (注 3、4)	合 計	累 計
	ha	ha	ha	ha	ha
平成 6 年以前			31.34	31.34	31.34
平成 7 年～11 年			4.37	4.37	35.71
平成 12 年～16 年			2.47	2.47	38.18
平成 17 年～21 年			0.94	0.94	39.12
平成 22 年～26 年			9.16	9.16	48.28
平成 27 年～令和元年			5.47	5.47	53.75

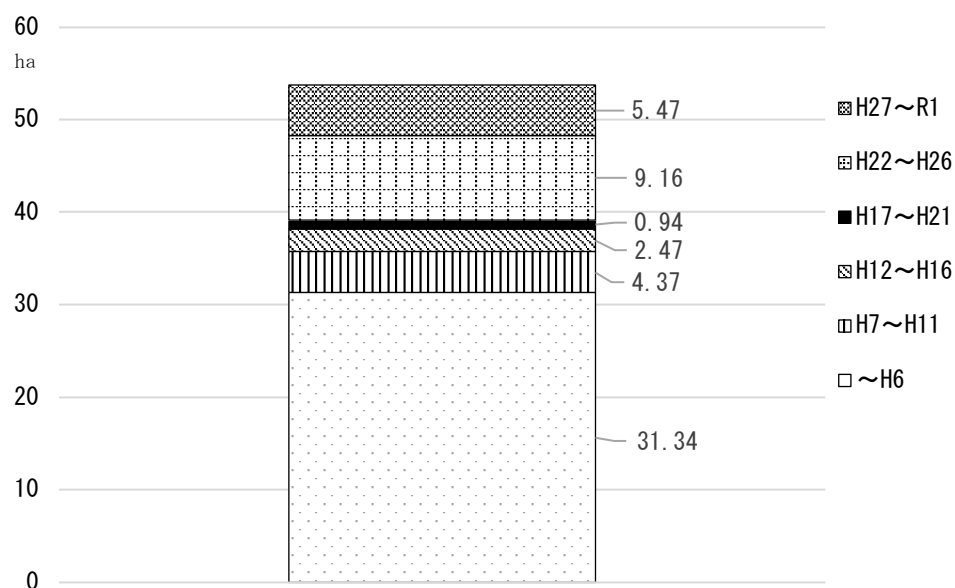


図 3 - 3 面整備実績の累計

C0305 農地転用状況

平成 27 年から令和元年までの過去 5 年間の農地転用面積は、用途地域指定区域では約 3.6ha、用途地域指定外区域では約 15.2ha の合計 18.7ha である。用途地域指定外区域の方が農地転用面積は多いが、5 年間の農地面積における転用率は用途地域指定区域が 10.9%、用途地域指定外区域が 1.5%となっており、用途地域指定区域の方が高い。

転用用途別にみると、用途地域指定区域ではその他用地への転用が 74.5%と最も多く、用途地域指定外区域もその他用地への転用が 44.6%と最も多い。その他用地への転用は主に太陽光発電施設用地への転用となっている。

表 3-4 農地転用推移

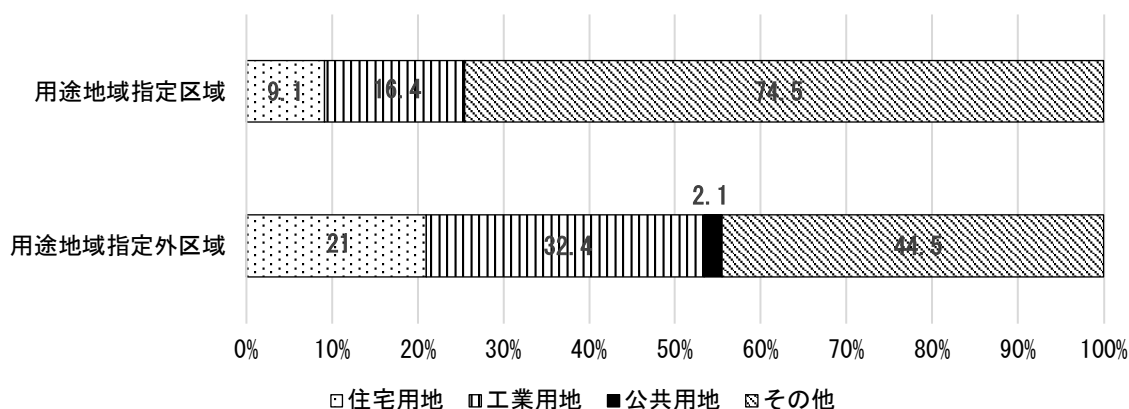
区域区分	転用用途	住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合計		前年末の農地面積 ㎡	注1) 転用率 %
		件数	面積 ㎡	件数	面積 ㎡	件数	面積 ㎡	件数	面積 ㎡	件数	面積 ㎡		
用途地域指定区域	平成27年	1	365.00					8	9,848.00	9	10,213.00	327,832.21	3.1
	平成28年	1	329.00	1	1,983.00			2	3,742.00	4	6,054.00	321,778.21	1.9
	平成29年	2	831.00	2	3,884.00			5	4,333.00	9	9,048.00	312,730.21	2.9
	平成30年	3	1,260.00					5	5,972.00	8	7,232.00	305,498.21	2.4
	令和元年	1	463.00					4	2,713.00	5	3,176.00	302,322.21	1.1
	合計	8	3,248.00	3	5,867.00			24	26,608.00	35	35,723.00		10.9
用途地域指定外区域	平成27年	12	7,001.84	1	4,681.00			7	4,613.00	20	16,295.84	9,830,453.94	0.2
	平成28年	17	7,886.00					10	8,907.65	27	16,793.65	9,813,660.29	0.2
	平成29年	14	6,120.00	1	1,611.00	1	3,138.00	9	40,057.03	25	50,926.03	9,762,734.26	0.5
	平成30年	13	5,712.00	2	4,190.00			5	4,819.98	20	14,721.98	9,748,012.28	0.2
	令和元年	17	5,102.00	3	38,602.00			6	9,222.00	26	52,926.00	9,695,086.28	0.5
	合計	73	31,821.84	7	49,084.00	1	3,138.00	37	67,619.66	118	151,663.50		1.5
合計	平成27年	13	7,366.84	1	4,681.00			15	14,461.00	29	26,508.84	10,158,286.15	0.3
	平成28年	18	8,215.00	1	1,983.00			12	12,649.65	31	22,847.65	10,135,438.50	0.2
	平成29年	16	6,951.00	3	5,495.00	1	3,138.00	14	44,390.03	34	59,974.03	10,075,464.47	0.6
	平成30年	16	6,972.00	2	4,190.00			10	10,791.98	28	21,953.98	10,053,510.49	0.2
	令和元年	18	5,565.00	3	38,602.00			10	11,935.00	31	56,102.00	9,997,408.49	0.6
	合計	81	35,069.84	10	54,951.00	1	3,138.00	61	94,227.66	153	187,386.50		1.8

資料：農地転用申請書（4条・5条）、2010年世界農林業センサス

注1) 転用率＝過去1年間の農地転用面積／前年の農地面積×100
＝5年間の農地転用面積／5年前の農地面積×100

注2) 一時転用についても含まれる

注3) 農地面積は、2010年世界農林業センサスの経営耕地面積をもとに、C0302-2土地利用別面積による農地面積割合を採用し算出した



注) 平成 27 年から令和元年の合計面積割合

図 3-4 農地転用面積構成比

C0307 新築状況

平成 27 年から令和元年までの 5 年間における都市計画区域の新築状況は、件数が 165 件、平均敷地面積が 1,072.44 m² (約 324 坪)、平均建ぺい率が 21.3%、平均容積率が 23.4%である。

そのうち用途地域指定区域の件数は 22 件で全新築件数の 13.3%を占め、平均建ぺい率、平均容積率はそれぞれ 31.8%、36.6%である。

建物の用途別にみると、住宅が 126 件であり全体の 76.4%を占めている。用途地域指定区域では住宅が 86.4%、工業が 4.5%、その他が 9.1%となっている。

大字別にみると、飯島が 70 件と最も多く、全体の約 4 割を占めている。また、分布状況をみると、既存住宅地内の農地及び既存住宅地周辺部の主要道路にアクセスが容易な場所への新築が多く見られる。

表 3-5 用途地域内外別新築建物状況

	新築件数(件)					敷地面積合計 (m ²)	平均敷地面積 (m ²)	建築面積合計 (m ²)	平均 建ぺい率(%)	延床面積合計 (m ²)	平均 容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	その他						
用途地域指定区域	22	19		1	2	20,596.40	936.20	6,547.01	31.8	7,533.84	36.6
用途地域指定外区域	143	107	3	3	30	156,356.34	1,093.40	31,118.91	19.9	33,881.82	21.7
都市計画区域	165	126	3	4	32	176,952.74	1,072.44	37,665.92	21.3	41,415.66	23.4

資料：建築確認申請書、建築計画概要書 (H27～R1)

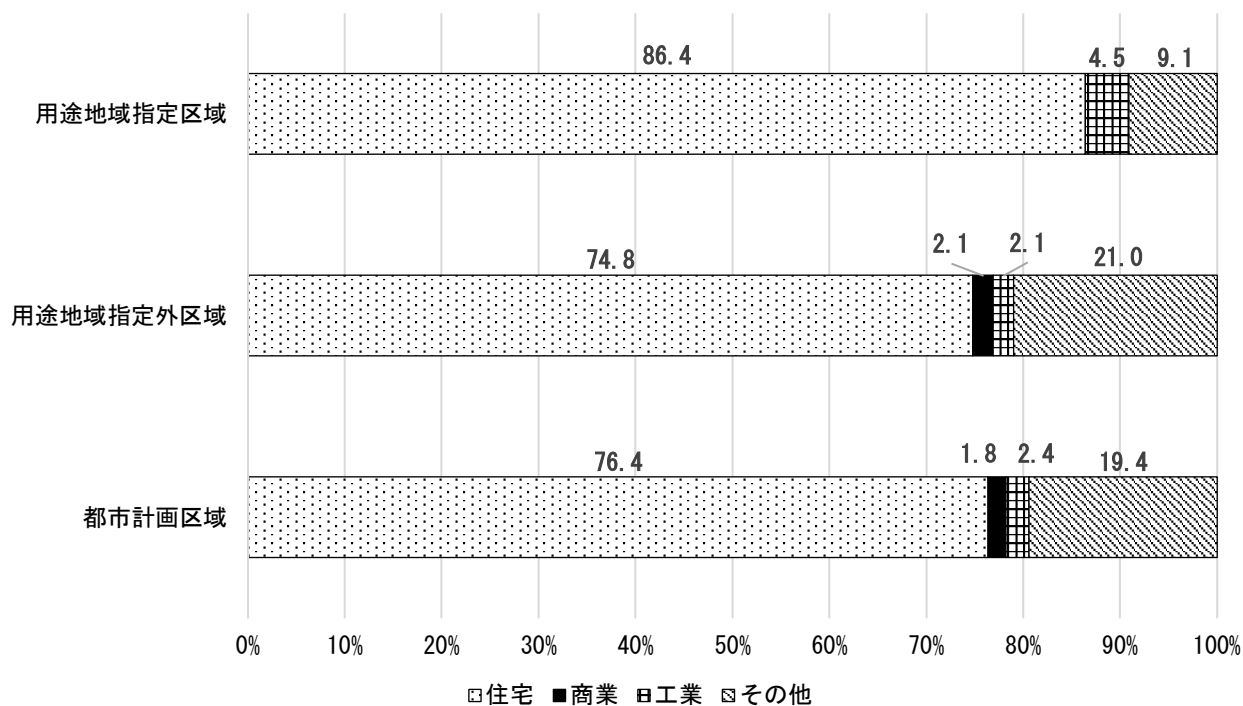


図 3-5 用途別新築建物件数構成比

表3-6 大字別新築状況

	新築件数(件)					敷地面積合計 (㎡)	平均敷地面積 (㎡)	建築面積合計 (㎡)	平均 建ぺい率(%)	延床面積合計 (㎡)	平均 容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	その他						
飯島	70	57	1		12	36,700.37	524.29	7,610.78	20.7	9,068.69	24.7
田切	24	15	2	1	6	28,761.66	1,198.40	3,985.50	13.9	4,495.98	15.6
本郷	14	8		1	5	14,565.11	1,040.37	1,852.75	12.7	2,092.85	14.4
七久保	57	46		2	9	96,925.60	1,700.45	24,216.89	25.0	25,758.14	26.6
都市計画区域	165	126	3	4	32	176,952.74	1,072.44	37,665.92	21.3	41,415.66	23.4

資料：建築確認申請書、建築計画概要書（H27～R1）

表3-7 地区別新築状況（用途地域指定区域）

地区名	新築件数(件)					敷地面積合計 (㎡)	平均敷地面積 (㎡)	建築面積合計 (㎡)	平均 建ぺい率(%)	延床面積合計 (㎡)	平均 容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	その他						
赤坂	4	2			2	4,611.05	1,152.76	843.34	18.3	884.41	19.2
北町	2	2				864.85	432.43	187.53	21.7	254.53	29.4
上ノ原											
中町											
南仲町	2	2				679.41	339.71	202.39	29.8	350.36	51.6
南町	4	4				2,442.00	610.50	539.33	22.1	564.58	23.1
親町	2	2				688.53	344.27	147.86	21.5	264.78	38.5
豊岡											
山久											
鳥居原											
舟久保											
北梅戸											
春日平											
追引											
中平											
北河原											
本郷第六											
新屋敷	2	2				911.90	455.95	165.62	18.2	226.28	24.8
上通り	1	1				432.70	432.70	128.20	29.6	186.78	43.2
南街道	2	2				789.01	394.51	156.15	19.8	263.82	33.4
北街道	1	1				197.42	197.42	75.70	38.3	134.14	67.9
北村											
新田	2	1		1		8,979.53	4,489.77	4,100.89	45.7	4,404.16	49.0
用途地域指定区域計	22	19		1	2	20,596.40	936.20	6,547.01	31.8	7,533.84	36.6

資料：建築確認申請書、建築計画概要書（H27～R1）

表3-8 地区別新築状況（用途地域指定外区域）

地区名	新築件数（件）					敷地面積合計 (㎡)	平均敷地面積 (㎡)	建築面積合計 (㎡)	平均 建ぺい率(%)	延床面積合計 (㎡)	平均 容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	その他						
岩間	7	6			1	3,189.27	455.61	614.36	19.3	786.04	24.6
高尾	1	1				420.00	420.00	102.90	24.5	130.53	31.1
赤坂	7	4			3	2,279.73	325.68	453.68	19.9	637.06	27.9
北町	3	3				1,319.68	439.89	304.96	23.1	382.46	29.0
上ノ原	11	9	1		1	5,270.74	479.16	1,115.62	21.2	1,270.40	24.1
中町	2	1			1	965.46	482.73	222.49	23.0	271.12	28.1
親町	4	4				2,262.39	565.60	369.30	16.3	541.37	23.9
豊岡	5	4			1	1,849.82	369.96	367.57	19.9	543.85	29.4
山久	2	1			1	3,403.00	1,701.50	679.26	20.0	619.94	18.2
石曽根	1	1				453.10	453.10	93.35	20.6	125.40	27.7
鳥居原	12	10			2	5,515.14	459.60	1,300.18	23.6	1,361.87	24.7
日曽利											
美沢											
赤坂グリーンヒル	1	1				486.20	486.20	66.66	13.7	79.99	16.5
春日平	3	3				2,089.19	696.40	409.16	19.6	482.05	23.1
追引	4	3			1	3,088.15	772.04	420.83	13.6	506.13	16.4
南割	3	1	2			11,410.71	3,803.57	1,470.75	12.9	1,417.22	12.4
南田切	7	2			5	5,065.15	723.59	957.01	18.9	1,040.21	20.5
中平	4	4				1,879.56	469.89	392.24	20.9	633.03	33.7
北河原	3	2		1		5,228.90	1,742.97	335.51	6.4	417.34	8.0
本郷第一	2	1			1	2,070.20	1,035.10	283.22	13.7	278.02	13.4
本郷第二	4	2			2	7,222.01	1,805.50	253.95	3.5	349.99	4.8
本郷第三	1	1				135.84	135.84	76.11	56.0	134.60	99.1
本郷第四	4	2			2	2,503.54	625.89	852.33	34.0	878.95	35.1
本郷第五	1	1				291.34	291.34	71.73	24.6	120.83	41.5
本郷第六	2	1		1		2,342.18	1,171.09	315.41	13.5	330.46	14.1
高遠原	3	3				1,622.27	540.76	198.03	12.2	272.97	16.8
新屋敷	9	8			1	6,013.41	668.16	752.53	12.5	844.73	14.0
上通り	2	2				417.03	208.52	150.04	36.0	253.45	60.8
南街道	1				1	4,184.60	4,184.60	1,374.94	32.9	1,238.60	29.6
北街道											
北村	5	4			1	5,571.04	1,114.21	695.16	12.5	759.39	13.6
柏木	11	8		1	2	54,680.13	4,970.92	14,850.65	27.2	15,256.62	27.9
荒田	6	4			2	5,128.14	854.69	702.71	13.7	763.82	14.9
新田	12	10			2	7,998.42	666.54	866.27	10.8	1,153.38	14.4
針ヶ平											
用途地域指定外区域計	143	107	3	3	30	156,356.34	1,093.40	31,118.91	19.9	33,881.82	21.7
都市計画区域計	165	126	3	4	32	176,952.74	1,072.44	37,665.92	21.3	41,415.66	23.4

資料：建築確認申請書、建築計画概要書（H27～R1）

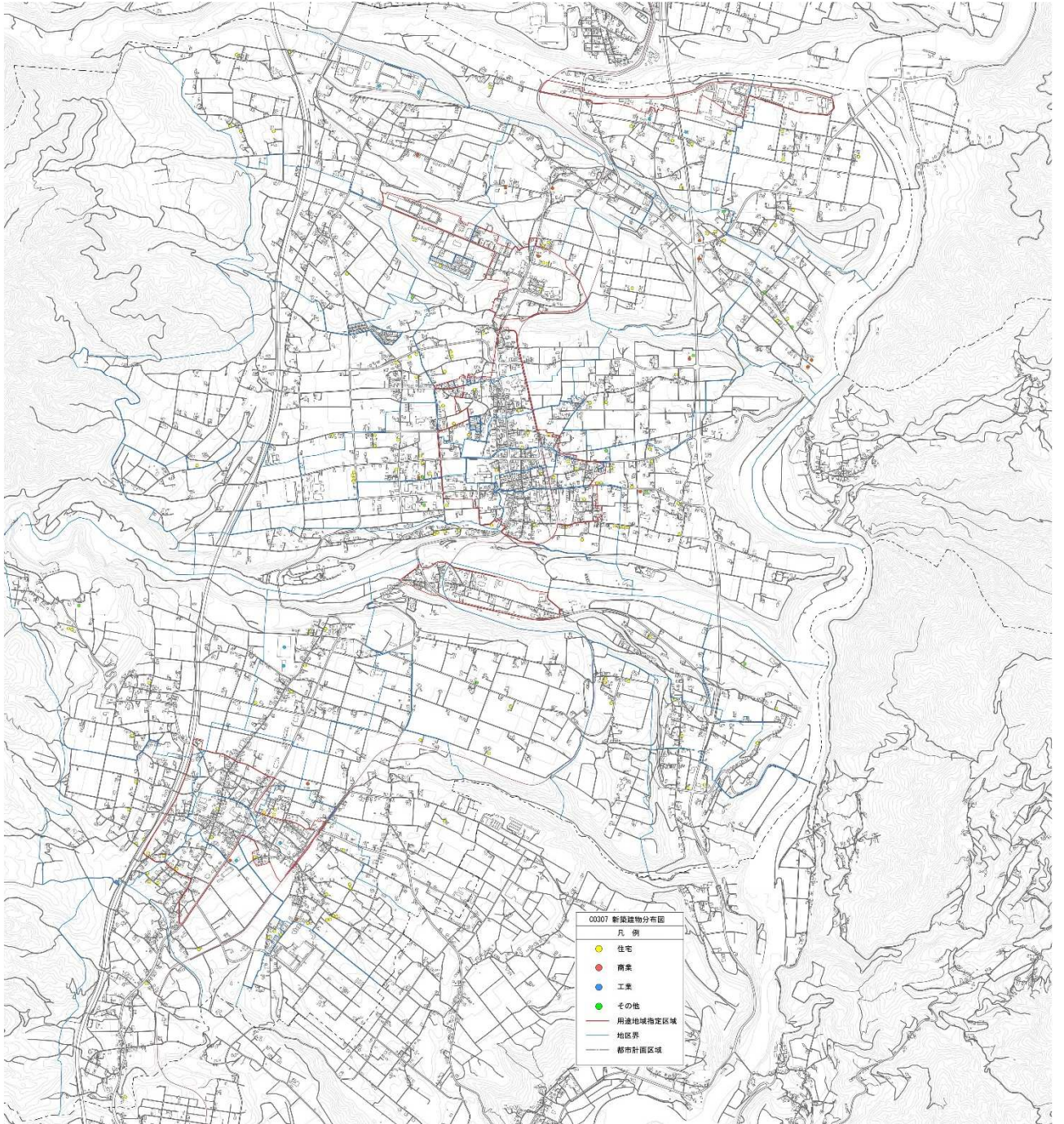


图 3 - 6 新築建物分布図

C0308 条例・協定

都市計画に関する条例・要綱のうち、飯島町では飯島町都市計画審議会条例、飯島町都市公園条例等を定めている。

また、長野県景観育成住民協定認定要綱に基づき、4地区において景観育成住民協定の締結がなされている。

地域地区は用途地域が218ha指定されており、防火地域、準防火地域、高度利用地区、風致地区等の指定はない。

表3-9 都市計画に関する条例・要綱

条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		対象範囲	決定主体	概要・主旨等
	当初	最終変更			
長野県景観育成住民協定認定要綱	平成4年8月17日	平成18年3月13日	長野県	長野県	長野県景観条例に規定する景観育成住民協定の認定に関し必要な事項を定めた条例
都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	平成16年3月29日	平成19年10月22日	〃	〃	都市計画法に基づく開発行為に関する基準について定めるもの。
長野県附属機関条例	令和2年3月19日	—	〃	〃	地方自治法の規定により、執行機関の附属機関の設置並びにその組織及び運営に関し必要な事項を定めるもの。
飯島町都市計画審議会条例	昭和51年3月26日	平成17年4月1日	飯島町	飯島町	都市計画法規定により設置し都市計画に関する事項を調査審議する審議会に関し必要な事項を定めるもの。
飯島町景観条例	平成30年3月23日	—	〃	〃	景観計画の策定、行為の規制その他良好な景観の形成に関する施策の基本となる事項を定めるもの。
飯島町屋外広告物条例	平成31年3月22日	—	〃	〃	屋外広告物法の規定に基づき、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持について、必要な規制の基準を定めるもの。
飯島町都市公園条例	昭和60年7月4日	平成30年4月1日	〃	〃	都市公園の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるもの。
飯島町公共下水道条例	平成11年12月22日	令和元年公布日から施行	〃	〃	公共下水道の管理及び使用等に関し必要な事項を定めるもの。

資料：長野県例規集、飯島町例規集

表3-10 住民協定一覧

協定の名称	決定年月日	期限	協定の内容
飯島町中心商店街等街づくり協定	平成8年12月9日	10年	中心商店街におけるまちづくりに対する住民の意識の統一を図り、街並みの整備に関する事項を協定し、街並み景観の創出を図ることを目的とする。建築物、看板・広告物、駐車場等に関する基準を示す。(沿道約360m)
伊南バイパス飯島地区景観形成・土地利用住民協定	平成17年5月13日	20年	飯島町の自然豊かな田園風景と、みどり豊かな住み良い地域環境を後世に残すために、優良農地の保全と景観形成に務めることを目的とする。建築物、屋外広告物、自動販売機、土木構造物等に関する基準を示す。(沿道約1,600m)
伊南バイパス本郷地区景観形成・土地利用住民協定	平成18年7月11日	10年	飯島町の自然豊かな田園風景と、緑豊かな住み良い地域環境を後世に残すために、優良農地の保全と景観形成に努めることを目的とする。建築物、屋外広告物、自動販売機、土木構造物等に関する基準を示す。(沿道約680m)
伊南バイパス周辺田切地区景観形成・土地利用住民協定	平成25年3月25日	10年	飯島町の自然豊かな田園風景と、緑豊かな住み良い地域環境を後世に残すために、優良農地の保全と景観形成に努めることを目的とする。建築物、屋外広告物、自動販売機、土木構造物等に関する基準を示す。(沿道約800m)

資料：景観形成住民協定書

表 3-11 都市地域

用途地域 指定外区域 (ha)	用途地域指定区域 (ha)														備考
	総 面 積	第一種 低層住居 専用地域	第二種 低層住居 専用地域	第一種中 高層住居 専用地域	第二種中 高層住居 専用地域	第一種 住居 地域	第二種 住居 地域	準住居 地域	田園 住居 地域	近隣 商業 地域	商業 地域	準工業 地域	工業 地域	工業 専用 地域	
4,390	218	12		26		66				10	3	44	57		用途地域決定年月日 平成7年9月29日 人口総数 9,530人 (平成27年国勢調査)

資料：庁内資料

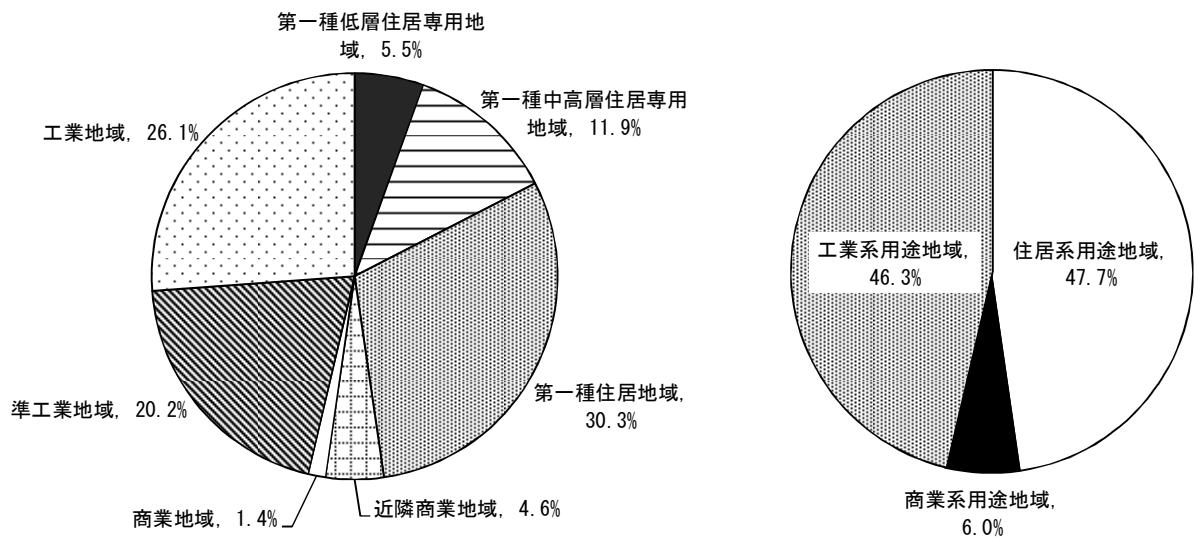


図 3-7 用途地域指定区域面積構成比

④ 建 物

C0401 建物用途別現況

C0401-2 地区別木造率現況

用途地域指定区域における地区別木造建物の棟数比率をみると、鳥居原と追引がともに100.0%、南町が85.8%、北町が84.4%と高い値を示している。

用途地域指定区域全体では木造建物の棟数比率が72.7%、延べ床面積比率が46.6%となっている。

表4-1 地区別木造率現況

地区名	全建物 棟数(棟)	全建物 延床面積(m ²)	木造建物			
			棟数(棟)	比率(%)	延床面積(m ²)	比率(%)
赤坂	285	39,826.10	190	66.7	15,351.82	38.5
北町	314	25,746.71	265	84.4	21,947.18	85.2
上ノ原	26	3,171.63	15	57.7	1,389.72	43.8
中町	191	22,127.57	140	73.3	13,461.40	60.8
南仲町	172	29,536.30	118	68.6	11,320.44	38.3
南町	302	26,618.41	259	85.8	22,759.17	85.5
親町	351	34,480.35	275	78.3	24,716.19	71.7
豊岡	80	5,483.49	64	80.0	3,928.51	71.6
山久	118	16,605.95	97	82.2	8,675.49	52.2
鳥居原	4	342.72	4	100.0	342.72	100.0
舟久保	10	918.98	7	70.0	464.39	50.5
北梅戸	9	3,065.10	0	0.0	0.00	0.0
春日平	21	15,386.47	0	0.0	0.00	0.0
追引	5	264.07	5	100.0	264.07	100.0
中平	35	26,098.98	0	0.0	0.00	0.0
北河原	71	37,604.52	8	11.3	376.60	1.0
本郷第六	126	16,113.76	89	70.6	7,284.65	45.2
新屋敷	94	6,849.87	76	80.9	5,834.77	85.2
上通り	112	8,592.72	77	68.8	6,232.36	72.5
南街道	217	24,325.78	157	72.4	14,317.99	58.9
北街道	177	14,823.94	138	78.0	11,251.69	75.9
北村	4	476.77	2	50.0	410.57	86.1
新田	198	30,980.62	137	69.2	11,067.81	35.7
用途地域指定区域計	2,922	389,440.81	2,123	72.7	181,397.54	46.6

資料：家屋課税台帳、町有財産台帳他

C0401-3 地区別建ぺい率現況

用途地域指定区域における地区別ネット建ぺい率をみると、北河原が 51.9%と突出して高く、次いで中平が 46.2%、北梅戸が 32.3%と続いている。

用途地域指定区域全体ではネット建ぺい率 27.0%、グロス建ぺい率 13.9%となっている。

表 4-2 地区別建ぺい率現況

地区名	ネット建ぺい率			前回建ぺい率 B (%)	建ぺい率の 増減 A-B (%)	グロス建ぺい率		現況用途地域及び指定建ぺい率
	宅地面積合計 (㎡)	建築面積合計 (㎡)	建ぺい率 A (%)			地区面積合計 (㎡)	建ぺい率 (%)	
赤坂	133,789	30,682.98	22.9	28.6	-5.6	324,000	9.5	1住、工業 (60%)
北町	81,356	20,335.98	25.0	30.2	-5.2	151,000	13.5	近商 (80%)、1中高、1住、準工 (60%)
上ノ原	11,098	2,006.21	18.1	22.0	-4.0	37,000	5.4	1中高、1住 (60%)
中町	56,476	15,632.53	27.7	29.4	-1.7	114,000	13.7	近商 (80%)、1中高、1住、準工 (60%)
南仲町	62,133	17,678.84	28.5	36.3	-7.8	92,000	19.2	近商 (80%)、商業 (80%)、1中高、1住 (60%)
南町	69,330	18,768.88	27.1	31.5	-4.4	102,000	18.4	近商 (80%)、1中高、1住、準工 (60%)
親町	101,079	25,911.55	25.6	27.9	-2.3	192,000	13.5	1中高、1住、準工 (60%)
豊岡	25,337	4,260.45	16.8	26.7	-9.9	46,000	9.3	準工 (60%)
山久	39,478	10,740.06	27.2	43.3	-16.1	74,000	14.5	1住 (60%)
鳥居原	1,093	286.53	26.2	25.9	0.3	4,000	7.2	1中高 (60%)
舟久保	4,383	918.98	21.0	21.2	-0.2	6,000	15.3	1住 (60%)
北梅戸	4,856	1,568.55	32.3	59.8	-27.5	6,000	26.1	1中高 (60%)
春日平	64,673	15,281.47	23.6	27.9	-4.2	73,000	20.9	工業 (60%)
追引	1,001	244.24	24.4	24.4	0.0	3,000	8.1	工業 (60%)
中平	47,112	21,747.27	46.2	39.6	6.6	66,000	33.0	工業 (60%)
北河原	68,953	35,754.24	51.9	38.1	13.8	139,000	25.7	工業 (60%)
本郷第六	71,265	14,091.88	19.8	20.7	-1.0	160,000	8.8	準工、工業 (60%)
新屋敷	32,818	5,441.97	16.6	23.8	-7.2	111,000	4.9	1低 (50%)、1住 (60%)、近商 (80%)
上通り	32,293	6,838.67	21.2	30.1	-8.9	101,000	6.8	1低 (50%)、1中高、1住 (60%)
南街道	72,418	18,364.91	25.4	31.7	-6.4	123,000	14.9	1低 (50%)、1中高、1住 (60%)、近商 (80%)
北街道	56,541	11,203.60	19.8	22.2	-2.4	126,000	8.9	1中高、1住 (60%)、近商 (80%)
北村	1,880	350.06	18.6	20.6	-2.0	6,000	5.8	1住 (60%)
新田	80,067	24,039.29	30.0	29.9	0.2	124,000	19.4	準工、工業 (60%)
用途地域指定区域	1,119,429	302,149.14	27.0	30.1	-3.1	2,180,000	13.9	

資料：家屋課税台帳、町有財産台帳他

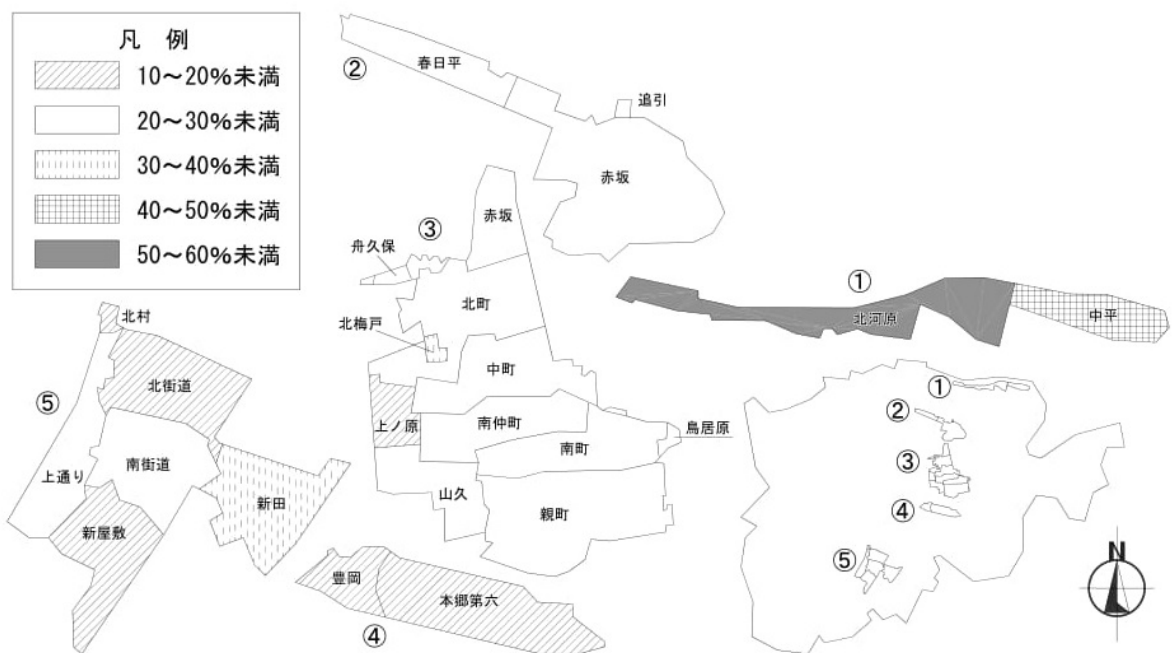


図 4-1 地区別建ぺい率現況 (ネット建ぺい率)

C0401-4 地区別容積率現況

用途地域指定区域における地区別ネット容積率をみると、北梅戸が63.1%と最も高く、次いで中平が55.4%、北河原が54.5%と続いている。

用途地域指定区域全体ではネット容積率34.8%、グロス容積率17.9%となっている。

表4-3 地区別容積率現況

地区名	ネット容積率			前回容積率 A (%)	前回容積率 B (%)	容積率の増減 A-B (%)	グロス容積率		現況用途地域及び指定容積率
	宅地面積合計 (㎡)	延床面積合計 (㎡)	容積率 A (%)				地区面積合計 (㎡)	容積率 (%)	
赤坂	133,789	39,826.10	29.8	36.6	-6.8	324,000	12.3	1住、工業(60%)	
北町	81,356	25,746.71	31.6	37.5	-5.9	151,000	17.1	近商(80%)、1中高、1住、準工(60%)	
上ノ原	11,098	3,171.63	28.6	30.3	-1.7	37,000	8.6	1中高、1住(60%)	
中町	56,476	22,127.57	39.2	41.2	-2.0	114,000	19.4	近商(80%)、1中高、1住、準工(60%)	
南仲町	62,133	29,536.30	47.5	56.1	-8.5	92,000	32.1	近商(80%)、商業(80%)、1中高、1住(60%)	
南町	69,330	26,618.41	38.4	43.4	-5.0	102,000	26.1	近商(80%)、1中高、1住、準工(60%)	
親町	101,079	34,480.35	34.1	36.6	-2.5	192,000	18.0	1中高、1住、準工(60%)	
豊岡	25,337	5,483.49	21.6	31.2	-9.6	46,000	11.9	準工(60%)	
山久	39,478	16,605.95	42.1	65.2	-23.2	74,000	22.4	1住(60%)	
鳥居原	1,093	342.72	31.4	36.7	-5.3	4,000	8.6	1中高(60%)	
舟久保	4,383	918.98	21.0	22.1	-1.2	6,000	15.3	1住(60%)	
北梅戸	4,856	3,065.10	63.1	63.4	-0.3	6,000	51.1	1中高(60%)	
春日平	64,673	15,386.47	23.8	28.3	-4.5	73,000	21.1	工業(60%)	
追引	1,001	264.07	26.4	26.4	0.0	3,000	8.8	工業(60%)	
中平	47,112	26,098.98	55.4	44.8	10.6	66,000	39.5	工業(60%)	
北河原	68,953	37,604.52	54.5	41.2	13.4	139,000	27.1	工業(60%)	
本郷第六	71,265	16,113.76	22.6	23.9	-1.3	160,000	10.1	準工、工業(60%)	
新屋敷	32,818	6,849.87	20.9	28.6	-7.8	111,000	6.2	1低(50%)、1住(60%)、近商(80%)	
上通り	32,293	8,592.72	26.6	35.0	-8.4	101,000	8.5	1低(50%)、1中高、1住(60%)	
南街道	72,418	24,325.78	33.6	40.3	-6.7	123,000	19.8	1低(50%)、1中高、1住(60%)、近商(80%)	
北街道	56,541	14,823.94	26.2	28.0	-1.8	126,000	11.8	1中高、1住(60%)、近商(80%)	
北村	1,880	476.77	25.4	28.1	-2.7	6,000	7.9	1住(60%)	
新田	80,067	30,980.62	38.7	39.4	-0.7	124,000	25.0	準工、工業(60%)	
用途地域指定区域	1,119,429	389,440.81	34.8	38.3	-3.5	2,180,000	17.9		

資料：家屋課税台帳、町有財産台帳他

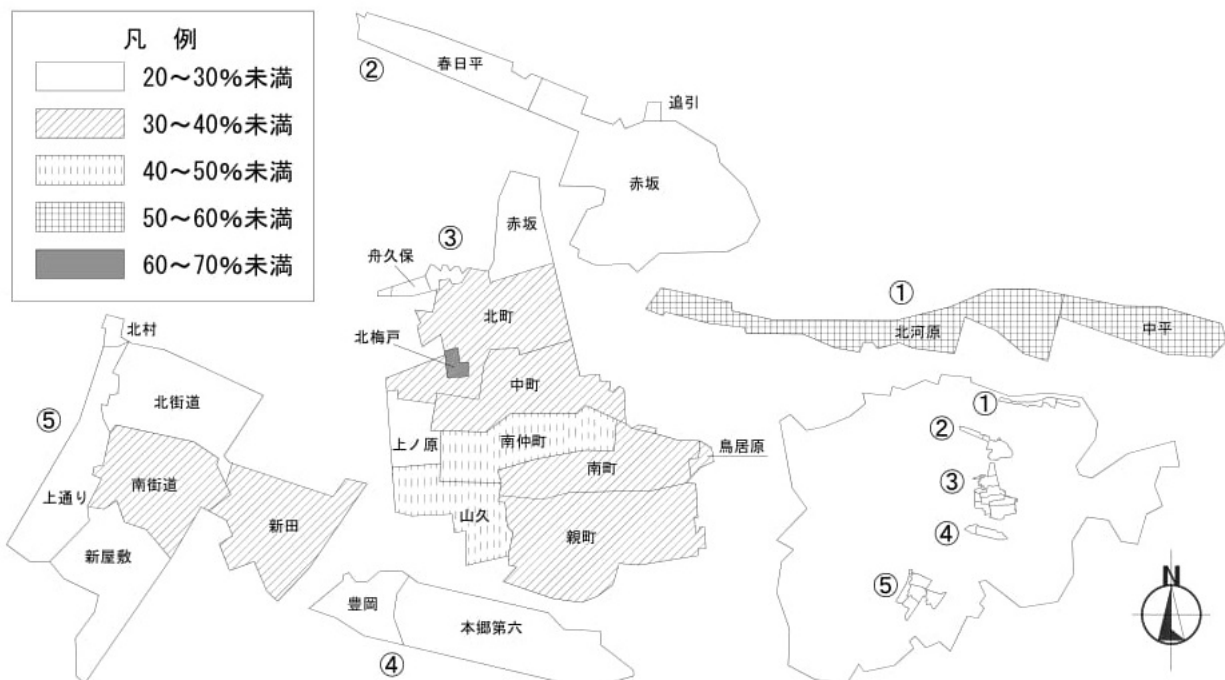


図4-2 地区別容積率現況 (ネット容積率)

C0401-5 地区別、用途別の建物延べ床面積現況

用途地域指定区域における用途別の建物延べ床面積をみると、389,440.81 m²のうち住宅が37.0%を占めており、次いで専用工場・倉庫が36.3%、その他が15.5%となっている。

地区別にみると、住宅団地がある舟久保、北梅戸はほとんどを住宅が占めており、工業団地等がある春日平、中平、北河原では専用工場・倉庫が占める割合が高い。公共施設が多い南仲町、山久、南街道はそのほか約4割以上を占めている。

表4-4 地区別用途別建物延べ床面積現況

地区名	住宅		工場・倉庫 併用住宅		専用工場・倉庫		店舗・事務所 併用住宅		専用店舗・ 事務所		その他		合計 延面積 (m ²)
	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	
赤坂	15,386.61	38.6	234.54	0.6	15,915.57	40.0	1,031.04	2.6	4,630.85	11.6	2627.49	6.6	39,826.10
北町	16,410.43	63.7	196.93	0.8	1,439.11	5.6	893.31	3.5	2,329.98	9.0	4,476.95	17.4	25,746.71
上ノ原	2,491.28	78.5			120.27	3.8	159.37	5.0			400.71	12.6	3,171.63
中町	8,026.50	36.3	62.80	0.3	2,329.74	10.5	2,182.09	9.9	4,423.06	20.0	5,103.38	23.1	22,127.57
南仲町	6,387.20	21.6	374.52	1.3	1,121.44	3.8	6,164.21	20.9	3,027.72	10.3	12,461.21	42.2	29,536.30
南町	17,544.17	65.9			2,590.46	9.7	2,788.53	10.5	907.48	3.4	2,787.77	10.5	26,618.41
親町	19,913.73	57.8	1,174.82	3.4	7,781.11	22.6	351.04	1.0	927.80	2.7	4,331.85	12.6	34,480.35
豊岡	3,424.01	62.4			814.55	14.9	371.73	6.8	530.75	9.7	342.45	6.2	5,483.49
山久	6,705.95	40.4			557.09	3.4	121.88	0.7	39.66	0.2	9,181.37	55.3	16,605.95
鳥居原	228.68	66.7	67.76	19.8							46.28	13.5	342.72
舟久保	911.51	99.2									7.47	0.8	918.98
北梅戸	2,993.10	97.7									72.00	2.3	3,065.10
春日平					15,066.04	97.9	292.73	1.9			27.70	0.2	15,386.47
追引	152.19	57.6			30.91	11.7					80.97	30.7	264.07
中平					25,810.99	98.9			287.99	1.1			26,098.98
北河原	150.11	0.4			35,443.86	94.3			1,714.69	4.6	295.86	0.8	37,604.52
本郷第六	5,016.43	31.1	105.78	0.7	9,444.31	58.6	101.65	0.6	981.83	6.1	463.76	2.9	16,113.76
新屋敷	4,907.32	71.6			484.80	7.1	182.63	2.7	86.95	1.3	1,188.17	17.3	6,849.87
上通り	5,522.74	64.3			1,422.80	16.6			26.45	0.3	1,620.73	18.9	8,592.72
南街道	10,623.98	43.7			1,330.83	5.5	2,169.81	8.9	659.46	2.7	9,541.70	39.2	24,325.78
北街道	8,720.46	58.8	206.44	1.4	1,410.95	9.5	280.86	1.9	1,213.54	8.2	2,991.69	20.2	14,823.94
北村	377.52	79.2			44.62	9.4					54.63	11.5	476.77
新田	8,224.93	26.5			18,341.19	59.2	1,437.22	4.6	910.52	2.9	2,066.76	6.7	30,980.62
用途地域指定区域	144,118.85	37.0	2,423.59	0.6	141,500.64	36.3	18,528.10	4.8	22,698.73	5.8	60,170.90	15.5	389,440.81

資料：家屋課税台帳、町有財産台帳他

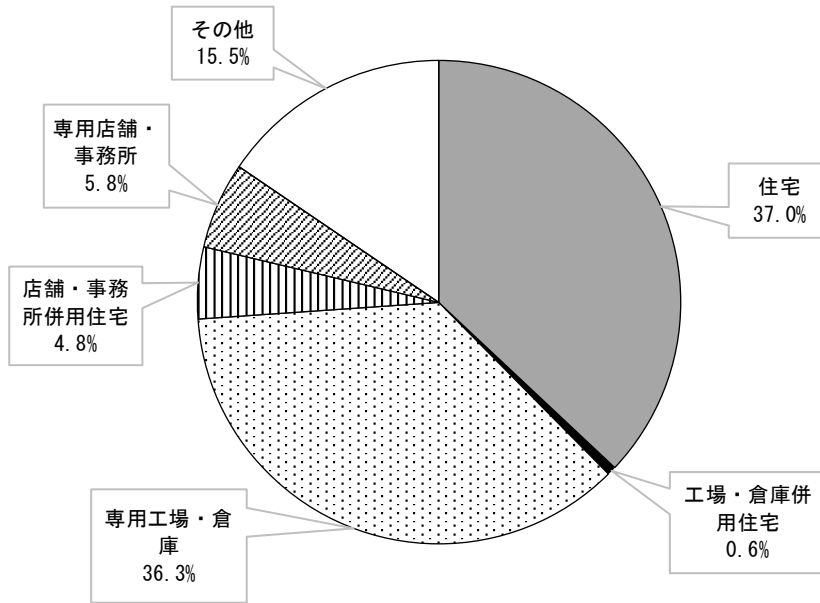


図4-3 用途別建物延べ床面積構成比（用途地域指定区域）

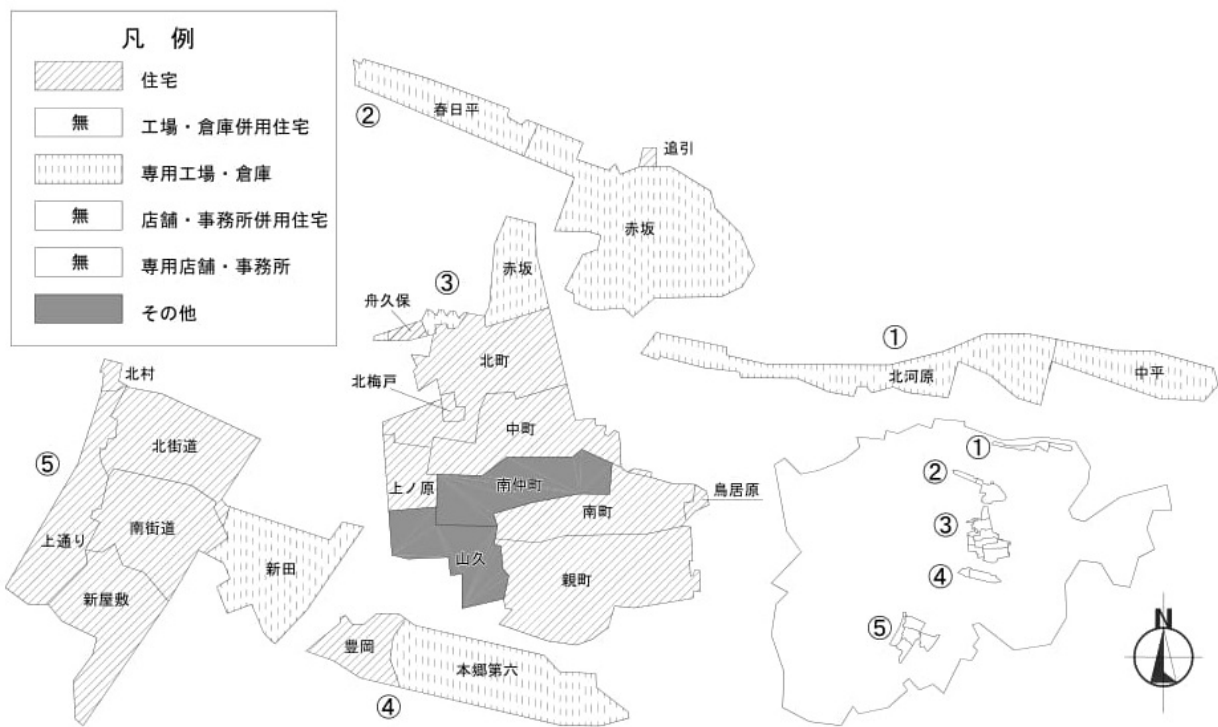


図4-4 地区別最大延べ床面積を占めている建物用途

C0401-6 建物年齢別現況

用途地域指定区域における建物年齢別現況は、30年以上が2,008棟と全体の68.7%を占めている。

地区別では北梅戸及び鳥居原、北村で30年以上の建物の割合が100.0%と最も高く、続いて豊岡が82.5%、舟久保、追引が80.0%と高い。

表4-5 地区別建物年齢別現況

地区名	全建物棟数(棟)	0~4年 2019~2015		5~9年 2014~2010		10~14年 2009~2005		15~19年 2004~2000		20~24年 1999~1995		25~29年 1994~1990		30年以上 1989~1982 (S57以降)		30年以上 1981年以前 (S56以前)	
		棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率
赤坂	285	4	1.4	11	3.9	13	4.6	12	4.2	22	7.7	43	15.1	55	19.3	125	43.9
北町	314	12	3.8	6	1.9	7	2.2	8	2.5	16	5.1	22	7.0	69	22.0	174	55.4
上ノ原	26			1	3.8	4	15.4			5	19.2	4	15.4	1	3.8	11	42.3
中町	191			9	4.7	11	5.8	12	6.3	15	7.9	11	5.8	33	17.3	100	52.4
南仲町	172	2	1.2	4	2.3			23	13.4	23	13.4	6	3.5	26	15.1	88	51.2
南町	302	5	1.7	9	3.0	14	4.6	11	3.6	17	5.6	21	7.0	57	18.9	168	55.6
親町	351	8	2.3	7	2.0	13	3.7	15	4.3	39	11.1	48	13.7	74	21.1	147	41.9
豊岡	80			1	1.3	1	1.3			8	10.0	4	5.0	11	13.8	55	68.8
山久	118	2	1.7	2	1.7	4	3.4	8	6.8	5	4.2	6	5.1	21	17.8	70	59.3
鳥居原	4															4	100.0
舟久保	10			1	10.0			1	10.0							8	80.0
北梅戸	9															9	100.0
春日平	21			2	9.5	1	4.8					6	28.6	3	14.3	9	42.9
追引	5									1	20.0					4	80.0
中平	35			2	5.7	3	8.6	6	17.1			5	14.3	11	31.4	8	22.9
北河原	71			5	7.0	4	5.6	4	5.6	10	14.1	9	12.7	18	25.4	21	29.6
本郷第六	126	5	4.0	3	2.4	2	1.6	9	7.1	10	7.9	19	15.1	29	23.0	49	38.9
新屋敷	94	2	2.1	3	3.2	4	4.3	8	8.5	6	6.4	8	8.5	17	18.1	46	48.9
上通り	112	2	1.8	2	1.8	2	1.8	1	0.9	6	5.4	7	6.3	31	27.7	61	54.5
南街道	217	4	1.8	6	2.8	7	3.2	7	3.2	21	9.7	41	18.9	46	21.2	85	39.2
北街道	177	4	2.3	1	0.6	5	2.8	6	3.4	16	9.0	16	9.0	26	14.7	103	58.2
北村	4															4	100.0
新田	198	2	1.0	8	4.0	5	2.5	12	6.1	23	11.6	17	8.6	42	21.2	89	44.9
用途地域指定区域	2,922	52	1.8	83	2.8	100	3.4	143	4.9	243	8.3	293	10.0	570	19.5	1,438	49.2

資料：家屋課税台帳、町有財産台帳

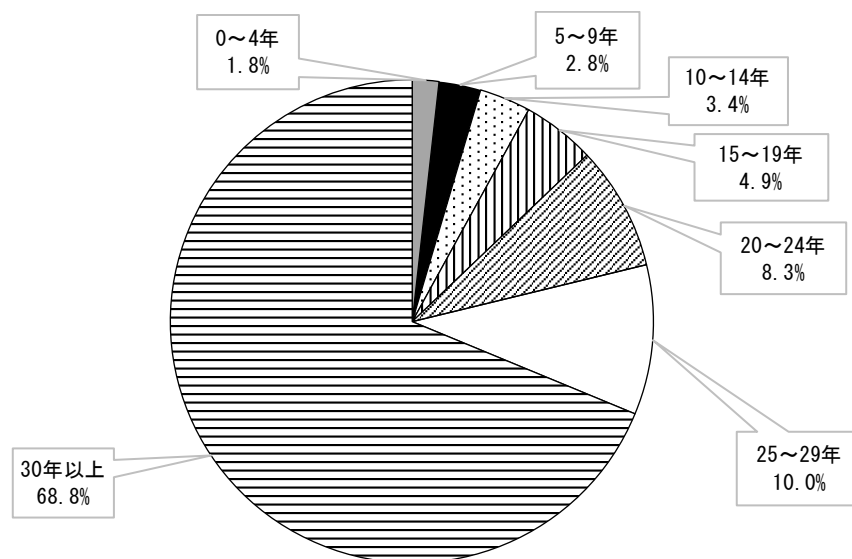


図4-5 建物年齢別構成比 (用途地域指定区域)

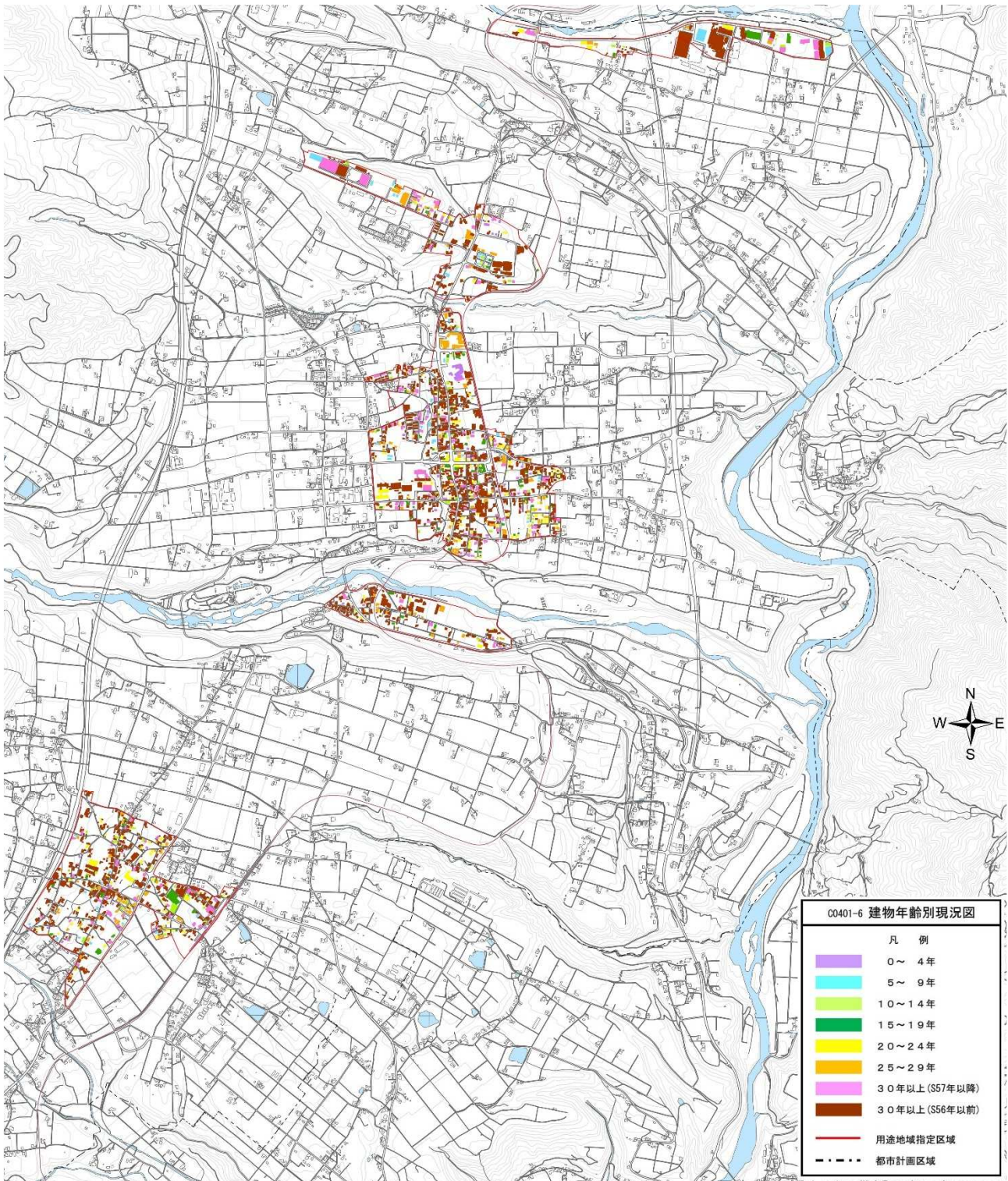


图 4 - 6 地区別建物年齢別構成比

⑤ 都市施設

C0501 都市施設の位置、内容等

飯島町の都市計画道路は昭和 55 年に 7 路線、平成 9 年に 2 路線が計画決定されており、総延長は 14,890m である。整備状況は飯島 2 号線及び飯島 4 号線が一部整備済みであり、平成 30 年度に伊南バイパスが暫定 2 車線で全線開通している。

都市計画公園は、地区公園として与田切公園が都市計画決定されており、平成 9 年に事業完了している。その他の未計画決定の都市公園はない。

その他の都市施設として、公共下水道が 301ha、汚物処理場が 1.2ha、ごみ焼却場が 2.5ha 計画決定されている。

表 5-1 都市施設の整備状況

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間	備考
	都市計画道路			
昭和55年 4月 3日	飯島都市計画飯島 1 号線	延長約1,140m 幅員16m		
	飯島都市計画飯島 2 号線	延長約1,210m 幅員12～16m 駅前広場 約2,500㎡	平成7年～平成14年	一部整備済 約350m
	飯島都市計画飯島 3 号線	延長約480m 幅員16m		
	飯島都市計画飯島 4 号線	延長約4,290m 幅員12～16m	平成7年～平成14年	一部整備済 約150m
	飯島都市計画飯島 5 号線	延長約1,040m 幅員14m		
	飯島都市計画飯島 6 号線	延長約420m 幅員12m		
	飯島都市計画飯島 7 号線	延長約1,040m 幅員12m		
平成 9年 7月10日	飯島都市計画伊南バイパス線	延長約4,380m 幅員24.5～28.0m	平成16年～	
	飯島都市計画飯島 8 号線	延長約890m 幅員16m		
	都市計画公園			
昭和56年10月19日	与田切公園	地区公園 5.8ha	昭和56年10月19日 ～平成9年4月1日	整備済
	公共下水道			
平成 6年 7月13日	飯島町公共下水道	計画面積 174ha		
平成15年 8月27日		計画面積 299ha		
平成21年12月 9日	飯島処理区	202ha		
	七久保処理区	99ha		
	汚物処理場			
昭和55年 9月20日	伊南行政組合衛生センター	面積 1.2ha		※
	ごみ焼却場			
平成27年 1月23日	上伊那クリーンセンター	面積 2.5ha		※

資料：庁内資料

注) ※は計画決定のみで飯島町に施設は存在しない

⑥ 交通

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

平成 27 年の断面交通量のうち、10,000 台/12h を超える路線は中央自動車道のみで、駒ヶ根・松川 I C 間が 18,919 台/12h である。5,000 台/12h を超える路線は、国道 153 号が 5,816~6,207 台/12h、主要地方道飯島飯田線が 8,714 台/12h となっている。

また、混雑時平均旅行速度は主要地方道伊那生田飯田線(田切地区)及び一般県道飯島停車場日曾利線で 20.0km/h 未満となっている。

表 6-1 主要道路断面交通量・混雑度・旅行速度

路線名	観測地点名	平日12時間 交通量 台	平日24時間 交通量 台	大型車混入率 %	混雑度	混雑時平均 旅行速度 km/h	位置図 対応番号
中央自動車道西宮線	駒ヶ根～松川	18,919	31,132	27.6	0.50	91.2	1
一般国道 153 号	中川村片桐	5,816	7,456	11.3	0.62	45.2	2
	飯島町飯島107	2,682	3,121	14.4	0.30	43.8	3
		2,682	3,121	14.4	0.30	42.1	4
	飯島町飯島1005	6,207	7,801	13.6	0.84	47.8	5
	主要地方道 飯島飯田線	飯島町七久保2252	8,714	11,502	8.5	0.83	35.6
8,714			11,502	8.5	0.83	47.5	7
主要地方道 伊那生田飯田線	飯島町日曾利7-4	475	542	27.6	0.10	30.8	8
		475	542	27.6	0.10	36.6	9
	飯島町田切1785-1	1,833	2,218	5.9	0.32	14.7	10
一般県道 飯島停車場日曾利線	飯島町飯島1189-2	1,602	1,938	4.4	0.25	13.5	11
		1,602	1,938	4.4	0.25	33.2	12
一般県道 飯島停車場線	飯島町飯島117-1	1,352	1,636	4.4	0.23	23.6	13
一般県道 北林飯島線	中川村片桐6210	1,241	1,477	3.8	0.22	41.2	14
		1,241	1,477	3.8	0.22	25.2	15
一般県道 七久保停車場線	飯島町七久保857-3	694	826	6.5	0.26	20.2	16
一般県道 千人塚公園線	飯島町七久保3026-33	263	355	11.0	0.05	28.9	17

資料：平成 27 年道路交通センサス報告書

注) 斜体の値は推定値

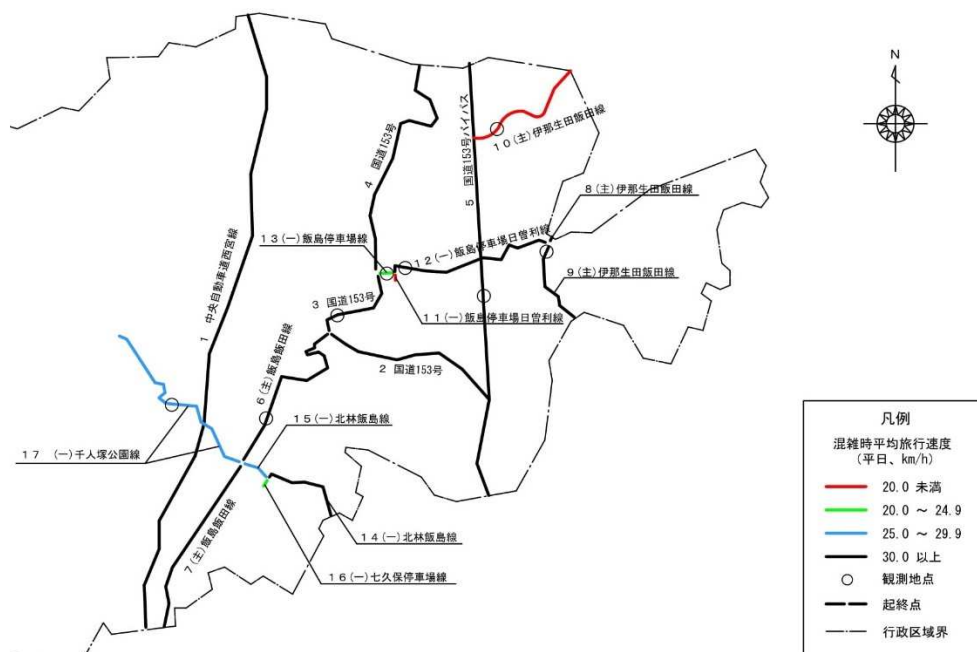


図 6-1 混雑時平均旅行速度分布図 (平成 27 年)

C0603 鉄道・路面電車等の状況

飯島町にはJR駅が5駅あり、飯島駅の利用者数が最も多い。平成26年の一日平均乗降人員は飯島駅が636人で、次いで七久保駅が342人となっており、田切駅、伊那本郷駅、高遠原駅は50～80人程度である。一般の利用者は少なく、ほとんどが学生の通学での利用と考えられる。

平成7年から平成26年までの20年間の一日平均乗降人員の推移をみると、すべての駅で減少傾向にあり、平成26年の一日平均乗降人員は平成7年の4～6割程度にまで減少している。

表6-2 JR駅乗降人員（一日平均）

年次	飯島駅	七久保駅	田切駅	伊那本郷駅	高遠原駅
平成7年	1,062人	770人	152人	160人	136人
平成8年	970	734	134	146	138
平成9年	960	736	132	118	122
平成10年	896	714	136	118	118
平成11年	868	684	138	104	114
平成12年	846	644	108	82	108
平成13年	802	544	98	68	100
平成14年	756	500	112	70	96
平成15年	712	506	106	66	98
平成16年	714	482	110	66	98
平成17年	668	462	108	60	82
平成18年	724	476	108	72	78
平成19年	688	502	106	76	92
平成20年	716	474	106	102	92
平成21年	682	494	104	106	54
平成22年	646	468	102	98	50
平成23年	670	426	92	86	62
平成24年	654	426	86	96	64
平成25年	706	398	76	104	62
平成26年	636	342	66	78	56

資料：長野県統計書、JR資料、JR東海サービス相談室

注) 平成7年から平成14年までの高遠原駅の数値、及び平成15年以降すべての数値は乗車数から推計した値
平成27年以降は、鉄道事業者（JR東海）による乗降人員のデータは非公表。

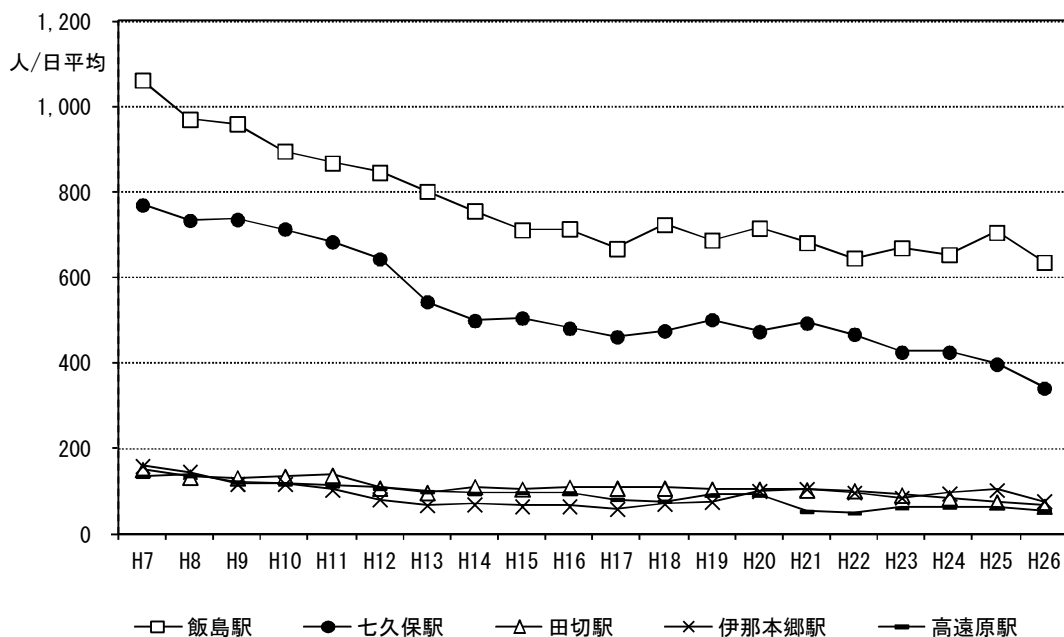
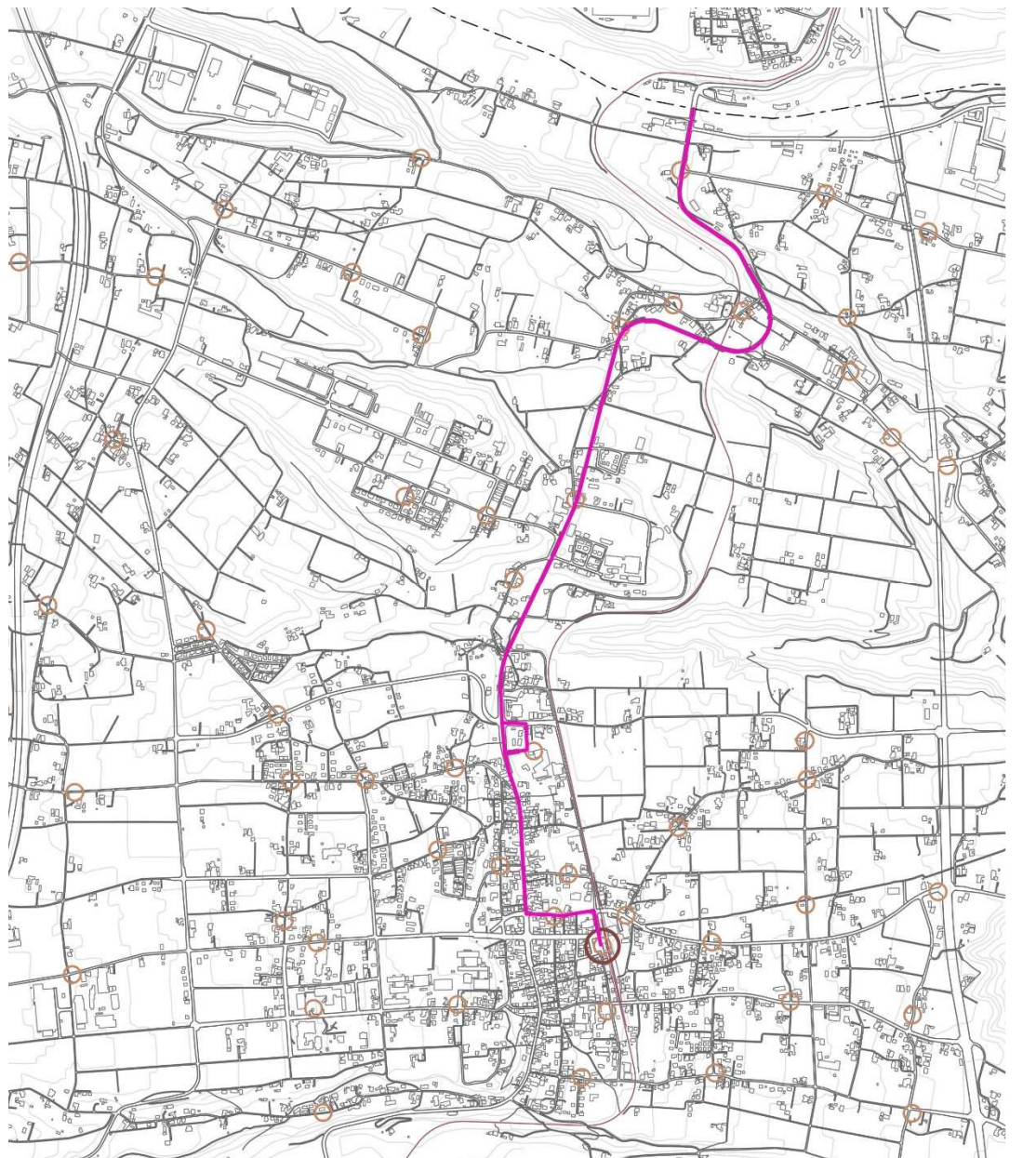


図6-2 JR駅乗降人員（一日平均）推移

C0604 バスの状況

飯島町は平成 21 年 4 月より地域の足として「いいちゃんバス」を運行している。駒ヶ根市にある昭和伊南病院と飯島駅を結ぶ病院線は土日・祝祭日・お盆・年末年始以外は毎日運行しており、南部方面（七久保・本郷）、西部・東部方面（飯島・田切）は予約のあるバス停のみ運行するデマンドバスとして運行している。特に高齢者の足としては欠かせない存在になっている。



C0604 バス交通状況図	
凡 例	
病院線	1日運行回数 4回
※南部区域（七久保・本郷）、北部区域（西方面・東方面）は、予約のあるバス停のみ運行するデマンドバス	
バス起点・終点	
バス停留所	
都市計画区域	

図 6 - 3 バス路線図

⑦ 地 価

C0701 地価の状況

令和2年における地価状況は、国道153号沿いの近隣商業地域の価格が21,500円/㎡と町内で最も高い値を示している。しかし、平成12年から5年毎の推移をみると平成17年が38,800円/㎡と16.4%の減少、平成22年は14.2%の減少、その後の10年間では35.4%と下落幅が大きい。

一方、住宅地における令和2年の地価は飯島地区で13,000円/㎡前後、七久保地区で8,600～11,100円/㎡となっており、下落幅は商業地に比べ小さい。

平成12年から令和2年の地価変動の推移をみると、すべての地点において下落が続いている。

表7-1 地価変動の推移

調査種別	No.	地番又は住居表示	年 度	価 格 (円/㎡)	5年間の 価格変化率(%)	土 地 利 用 の 状 況
地価 公示	①	飯島2451-2	平成12年	20,100	-	・ 中規模一般住宅が建ち並ぶ利便性の良い住宅地域 ・ 第一種住居地域 ・ 住宅地 建物用途：住宅
			平成17年	18,300	-9.0	
			平成22年	17,100	-6.6	
			平成27年	15,100	-11.7	
	令和2年	13,300	-11.9			
	②	七久保4455-2	平成12年	11,900	-	・ 一般住宅、農家住宅が混在する農村住宅地域 ・ 第一種低層住居専用地域 ・ 住宅地 建物用途：住宅
			平成17年	11,200	-5.9	
			平成22年	10,400	-7.1	
			平成27年	9,410	-9.5	
	令和2年	8,580	-8.8			
	③	飯島1151 飯島1151-1外	平成12年	46,400	-	・ 小売店舗、住宅等が混在する国道沿いの商業地域 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地 建物用途：店舗兼住宅
			平成17年	38,800	-16.4	
平成22年			33,300	-14.2		
平成27年			-	-		
令和2年	21,500	(-35.4、10年間)				
長野県 地価調査	④	七久保1456-15	平成12年	17,600	-	・ 一般住宅を主体とし周辺には農地等も見受けられる農家住宅地域 ・ 用途地域指定外区域 ・ 住宅地 建物用途：住宅
			平成17年	15,900	-9.7	
			平成22年	14,600	-8.2	
			平成27年	12,400	-15.1	
	令和2年	11,100	-10.5			
	⑤	飯島1095-1外1筆	平成12年	21,600	-	・ 農家集落の中に農化住宅、一般住宅が混在する住宅地域 ・ 第一種中高層住居専用地域 ・ 住宅地 建物用途：住宅
			平成17年	19,200	-11.1	
			平成22年	17,300	-9.9	
			平成27年	15,200	-12.1	
	令和2年	12,900	-15.1			
	⑥	七久保2247-1外2筆	平成12年	-	-	・ 県道沿いに主として店舗が建ち並ぶ商業地域 ・ 用途地域指定外区域 ・ 商業地 建物用途：店舗兼住宅
			平成17年	-	-	
平成22年			-	-		
平成27年			-	-		
令和2年	13,900	-				

資料：国土交通省地価公示、長野県地価調査書

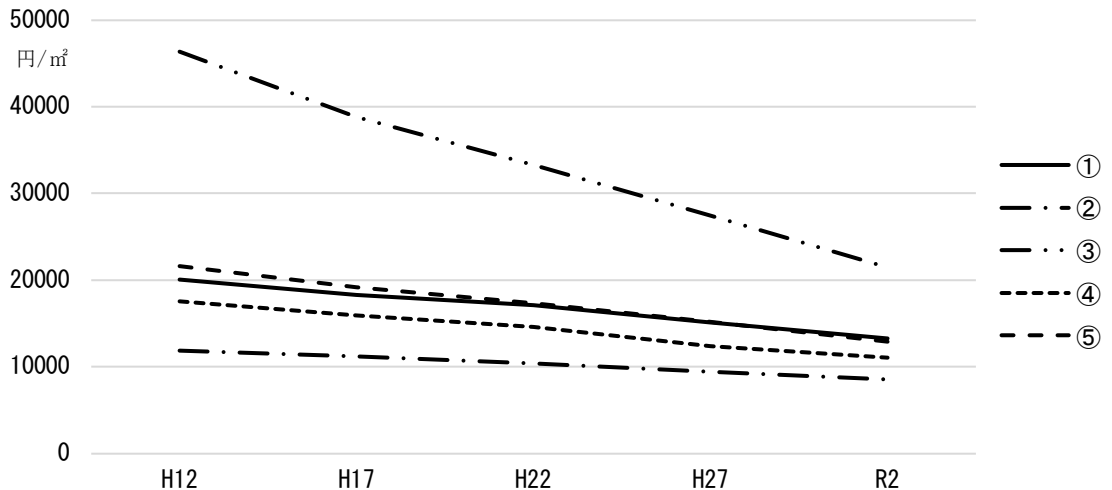


図7-1 地価変動の推移

⑧ 自然環境

C0802 気象状況

平成 22 年から令和元年までの 10 年間における平均気温は 11℃前後であり、最高気温は平成 25 年の 35.1℃、最低気温は平成 24 年の -14.1℃であった。

また、年間総降水量では、最高が平成 22 年の 2,880.5mm、最低が平成 29 年の 1,489.5mm と 1,400mm 程度の差が見られる。

令和元年の月別の気温変化をみると、月最高気温と月最低気温の差は、最も小さい 7 月で 16.9℃、最も大きい 5 月で 29.7℃となっている。また、年間の気温較差をみると、最も気温が高い 8 月の最高気温が 34.0℃であるのに対し、最も気温が低い 1 月の最低気温は -8.7℃と、年間の気温較差が大きいことを示している。

表 8-1 気象概況

年	降水量		降雪量	気温			最風多向	最大風速時向
	総量	日最大降水量		平均	最高	最低		
	mm	mm		℃	℃	℃		
平成22年	2880.5	102.5	-	11.5	34.1	-10.5	南	南
平成23年	2081.5	123.0	-	10.9	33.7	-9.9	南	北
平成24年	2008.5	100.5	-	10.8	33.8	-14.1	南	南南西
平成25年	1681.5	79.0	-	11.2	35.1	-12.5	南	北北西
平成26年	2083.0	118.0	-	10.7	34.4	-10.0	南	南南西
平成27年	2197.0	110.5	-	11.5	33.8	-10.5		南南西
平成28年	2258.0	129.5	-	11.9	33.4	-13.4		南南西
平成29年	1489.5	55.0	-	10.8	32.7	-10.4		南南西
平成30年	2301.5	128.5	-	11.9	34.8	-11.5		南南西
令和元年	1692.0	71.5	-	11.8	34.0	-8.7		南南東

資料：気象庁気象統計情報（地点：飯島）

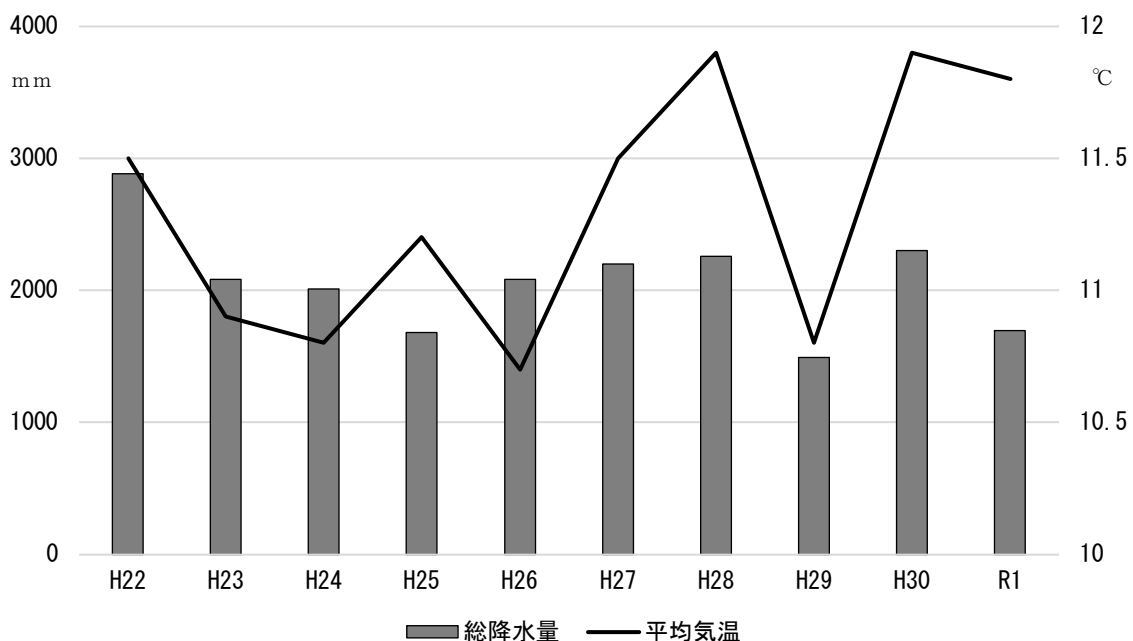


図 8-1 気象概況

表 8 - 2 気象概要 (令和元年)

月	降 水 量		降 雪 量	気 温			最 多 風 向	最 大 風 速 時 風 向
	総 量	日最大降水量		平均	最高	最低		
	mm	mm	cm	℃	℃	℃		
1月	21.5	11.0	-	-0.1	8.9	-8.7		南南東
2月	114.0	39.5	-	2.0	16.1	-6.9		南南東
3月	100.0	31.5	-	4.8	19.2	-3.8		南南東
4月	114.5	43.5	-	9.0	25.0	-3.6		南南西
5月	129.5	71.5	-	14.9	30.2	0.5		南
6月	222.5	60.0	-	18.0	29.1	9.9		南南西
7月	280.5	59.5	-	21.5	33.1	16.2		南
8月	232.5	53.0	-	24.0	34.0	15.6		南南西
9月	38.0	22.5	-	21.0	32.5	11.5		南南西
10月	277.0	54.0	-	15.2	27.1	7.1		北北東
11月	60.5	22.5	-	7.8	19.0	-2.1		南南東
12月	101.5	47.5	-	3.6	14.5	-4.4		北北西

資料：気象庁気象統計情報 (地点：飯島)

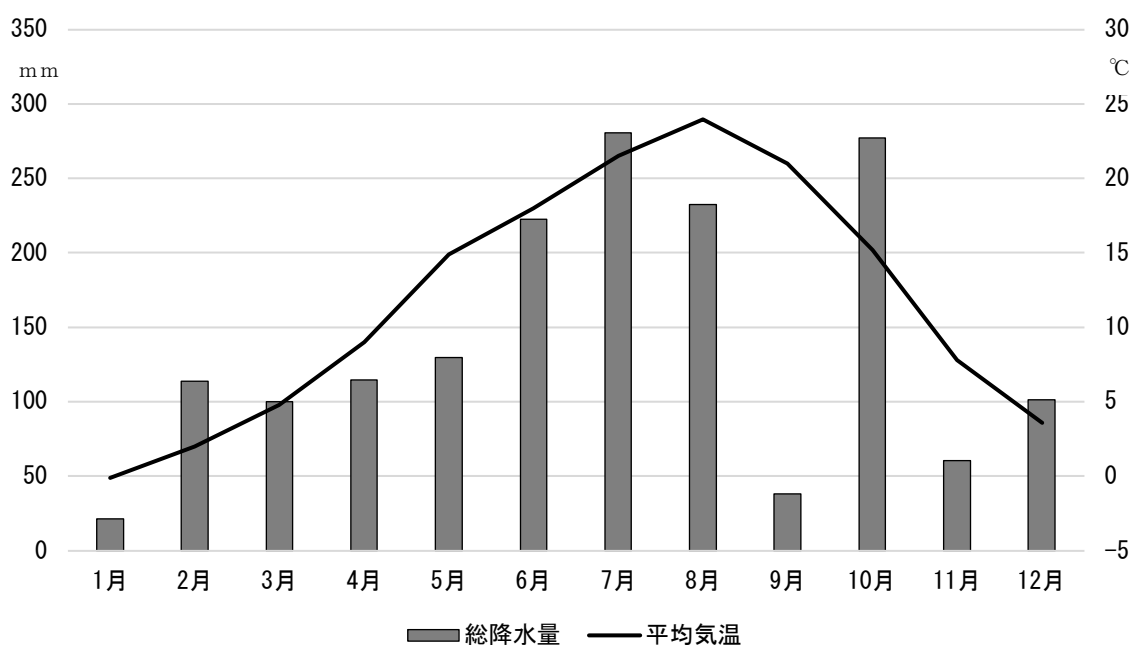


図 8 - 2 月別気温及び降水量の推移 (令和元年)

C0803 緑の状況

都市計画区域内の緑地現況をみると、公共緑地では公園、緑地が 12.9ha と最も多い。その他の緑地では、山林、原野その他これらに類するものが 2,523.0ha と最も多く、続いて農地、牧草地その他これらに類するものが 1,302.5ha となっている。

表 8-3 現存緑地の計量

	区 分	用途地域指定区域			用途地域 指定外区域 (4)	都市計画区域 (3) + (4) = (5)
		人口集中 地区(1)	(1)を除く 区域(2)	小 計 (1) + (2) = (3)		
公 共 緑 地	公園、緑地		0.1	0.1	12.8	12.9
	広場、運動場		3.0	3.0	7.2	10.2
	墓 園				0.5	0.5
	その他				1.3	1.3
そ の 他 の 緑 地	水面：河川、湖沼、水路		0.5	0.5	65.0	65.5
	水辺：海浜、河岸、湖畔		1.3	1.3	96.7	98.0
	山林、原野その他これらに類するもの		5.1	5.1	2,517.9	2,523.0
	農地、牧草地その他これらに類するもの		43.9	43.9	1,258.6	1,302.5
	社寺、境内地、墓地その他これらに類するもの		2.0	2.0	10.0	12.0
	給排水その他処理施設等の公共公益施設 附属緑地					
	遊園地、私設公園、私設分区園その他これらに類する民営施設					
	共同住宅緑地、工場緑地その他これらに類する施設				0.4	0.4
	学校、企業厚生施設その他これらに類する施設		8.3	8.3		8.3
	林業試験場、農事試験場その他これらに類する施設					

資料：緑地総括図

⑨ 公害及び災害

C0901 災害の発生状況

飯島町は過去に昭和 36 年梅雨前線豪雨（三六災害）をはじめ、昭和 58 年集中豪雨、昭和 60 年与田切土石流災害等、大きな被害を被っている。

平成 22 年から令和元年の過去 10 年間では、平成 26 年 3 月に床下浸水 2 戸の被害が発生している。

表 9 - 1 水害発生状況

発生年月日	浸水面積 (ha)	床下浸水 (戸)
平成 26 年 3 月 30 日	不明	2

資料：庁内資料

C0902 防災拠点・避難場所

防災拠点・避難場所については、指定緊急避難場所が55か所、指定避難所が23か所、防災関連施設が4か所ある。

表9-2 防災拠点・避難場所

No.	名 称	種 別	収容可能人数
1	岩間農業構造改善センター	指定緊急避難場所	60
2	高尾農業構造改善センター	指定緊急避難場所	50
3	赤坂耕地集会所	指定緊急避難場所	70
4	北町地区高齢者支えあい拠点施設（北町公会所）	指定緊急避難場所	40
5	上ノ原地区高齢者支えあい拠点施設（上ノ原公会所）	指定緊急避難場所	40
6	中町地区高齢者支えあい拠点施設（中町集会所）	指定緊急避難場所	40
7	南仲町公会所	指定緊急避難場所	30
8	南町コミュニティセンター	指定緊急避難場所	90
9	親町集会所	指定緊急避難場所	50
10	豊岡地区高齢者支えあい拠点施設（豊岡集会所）	指定緊急避難場所	40
11	飯島町文化館	指定緊急避難場所	980
12	山久地区高齢者支えあい拠点施設（山久集会所）	指定緊急避難場所	40
13	石曽根地区高齢者支えあい拠点施設（石曽根集会所）	指定緊急避難場所	30
14	鳥居原地区高齢者支えあい拠点施設（鳥居原公会所）	指定緊急避難場所	80
15	日曾利地区高齢者支えあい拠点施設（日曾利集会所）	指定緊急避難場所	40
16	舟久保教員住宅駐車場	指定緊急避難場所	90
17	美沢集会所	指定緊急避難場所	20
18	北梅戸集会所	指定緊急避難場所	20
19	赤坂グリーンヒル集会所	指定緊急避難場所	30
20	陣馬住宅駐車場・公園	指定緊急避難場所	840
21	グリーンリーフ飯島駐車場	指定緊急避難場所	260
22	グリーンハート西駐車場	指定緊急避難場所	510
23	飯島運動場	指定緊急避難場所	7,320
24	飯島小学校運動場	指定緊急避難場所	3,130
25	飯島中学校運動場	指定緊急避難場所	8,120
26	春日平地区高齢者支えあい拠点施設（春日平集会所）	指定緊急避難場所	40
27	追引公会所	指定緊急避難場所	60
28	南割地区高齢者支えあい拠点施設（南割集会所）	指定緊急避難場所	60
29	南田切地区高齢者支えあい拠点施設（南田切公会所）	指定緊急避難場所	40
30	自修館（中平集会所）	指定緊急避難場所	50
31	北河原地区高齢者支えあい拠点施設（北河原集会所）	指定緊急避難場所	60
32	田切野球場	指定緊急避難場所	6,390
33	道の駅 田切の里	指定緊急避難場所	1,280
34	本郷第一地区高齢者支えあい拠点施設（本郷第一集会所）	指定緊急避難場所	40
35	本二耕地コミュニティセンター	指定緊急避難場所	30
36	本三耕地集会所	指定緊急避難場所	40
37	本四ふれあいセンター	指定緊急避難場所	30
38	本郷第五地区高齢者支えあい拠点施設（本五集会所）	指定緊急避難場所	20
39	本郷第六地区高齢者支えあい拠点施設（本六集会所）	指定緊急避難場所	40
40	本郷運動場	指定緊急避難場所	2,500
41	高遠原地区高齢者支えあい拠点施設（高遠原集会所）	指定緊急避難場所	40
42	新屋敷地域交流センター	指定緊急避難場所	50
43	上通り農業構造改善センター	指定緊急避難場所	50
44	南街道地区高齢者支えあい拠点施設（南街道集会所）	指定緊急避難場所	40
45	北街道ハーモナイス	指定緊急避難場所	50
46	北村地区高齢者支えあい拠点施設（北村公会所）	指定緊急避難場所	40
47	千人塚公園駐車場	指定緊急避難場所	450
48	柏木地区高齢者支えあい拠点施設（柏木集会所）	指定緊急避難場所	40
49	荒田地区高齢者支えあい拠点施設（荒田公会所）	指定緊急避難場所	60
50	特別養護老人ホーム 越百園 マレットゴルフ場 駐車場	指定緊急避難場所	200
51	新田地区高齢者支えあい拠点施設（新田公会所）	指定緊急避難場所	50
52	針ヶ平地区高齢者支えあい拠点施設（針ヶ平集会所）	指定緊急避難場所	20
53	七久保小学校運動場	指定緊急避難場所	1,940
54	柏木運動場	指定緊急避難場所	5,650
55	道の駅 花の里いいじま	指定緊急避難場所	1,600

No.	名 称	種 別	収容可能人数
A	飯島小学校体育館	指定避難所	320
B	飯島小学校校舎	指定避難所	1,540
C	飯島中学校体育館	指定避難所	360
D	飯島中学校校舎	指定避難所	1,430
E	飯島体育館	指定避難所	470
F	飯島町文化館	指定避難所	980
G	飯島町役場西庁舎	指定避難所	240
H	飯島保育園	指定避難所	340
I	飯島東部保育園	指定避難所	380
J	飯島成人大学センター	指定避難所	250
K	日曾利集会所	指定避難所	40
L	田切公民館	指定避難所	140
M	田切体育館	指定避難所	190
N	本郷公民館	指定避難所	110
O	本郷体育館	指定避難所	190
P	七久保小学校体育館	指定避難所	280
Q	七久保小学校校舎	指定避難所	780
R	七久保保育園	指定避難所	320
S	七久保林業センター	指定避難所	200
T	B&G海洋センター体育館	指定避難所	420
U	キッズ防災拠点施設(飯島町子育て支援センター)【福祉避難所拠点施設】	指定避難所	110
V	地域福祉センター石楠花苑【福祉避難所】	指定避難所	410
W	特別養護老人ホーム越百園【福祉避難所】	指定避難所	1,360
ア	飯島町役場	防災関連施設	
イ	駒ヶ根警察署 飯島駐在所	防災関連施設	
ウ	駒ヶ根警察署 七久保駐在所	防災関連施設	
エ	上伊那広域消防本部 伊南南消防署	防災関連施設	

資料：地域防災計画、飯島町総合ハザードマップ